

第1回 武豊町総合計画審議会 次第

日 時 令和7年3月11日(火)
午前10時00分から
午前12時00分まで

場 所 武豊町役場 第2・3・4会議室

開 会

- 1 町長あいさつ
- 2 総合計画条例及び総合計画審議会条例・規則について・・・資料1
- 3 委嘱状交付
- 4 委員等の紹介・・・・・・・・・・・・・資料2
- 5 会長・副会長の選出
- 6 会長・副会長あいさつ
- 7 総合計画の概要及び後期基本計画の策定等について
 - (1) 第6次武豊町総合計画について・・・・・・・・・・・・・参考資料
 - (2) 第6次武豊町総合計画後期基本計画の策定について・・・・・・資料3
 - (3) 令和6年度町民等意識調査の結果について・・・・・・・・・・資料4
 - (4) まちづくり会議の結果について・・・・・・・・・・・・・資料5
 - (5) 第6次武豊町総合計画前期基本計画成果指標について・・・・・・資料6

閉 会

-
- 資料1 武豊町総合計画審議会条例・総合計画審議会規則
資料2 総合計画審議会委員名簿
資料3 第6次武豊町総合計画後期基本計画策定について
資料4 第6次武豊町総合計画に係る意識調査〔アンケート〕の結果【概要】
資料5 まちづくり会議開催結果【概要】
資料6 第6次武豊町総合計画前期基本計画 成果指標一覧

参考資料 第6次武豊町総合計画

○武豊町総合計画条例

令和元年9月26日

条例第5号

武豊町総合計画条例

(趣旨)

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な町政の運営を図るための総合計画の策定について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 本町の将来像及びそれを実現するためのまちづくりの目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想を実現するための施策の基本的方向を示すものをいう。
- (4) 実施計画 基本計画に基づく具体的事業を示すものをいう。

(総合計画の策定)

第3条 町長は、本町における総合的かつ計画的な町政の運営を図るため、総合計画を策定するものとする。

(総合計画審議会)

第4条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、町長の附属機関として、武豊町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 前項に規定するもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、規則で定める。

(総合計画審議会への諮問)

第5条 町長は、総合計画を策定するときは、あらかじめ、前条に規定する武豊町総合計画審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第6条 町長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経なければならない。

(基本計画及び実施計画の策定)

第7条 町長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(総合計画との整合性の確保)

第8条 個別の行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合を図るものとする。

(公表)

第9条 町長は、総合計画を策定し又は変更をしたときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(武豊町総合計画審議会条例の廃止)

2 武豊町総合計画審議会条例（昭和48年条例第19号）は、廃止する。

○武豊町総合計画審議会規則

令和元年9月26日

規則第5号

武豊町総合計画審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、武豊町総合計画条例（令和元年条例第5号）第4条第1項の規定に基づき、武豊町総合計画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じて次に掲げる総合計画の策定に関する事項について、必要な調査及び審議を行い、その意見を答申するものとする。

- (1) 武豊町総合計画基本構想に関すること。
- (2) 武豊町総合計画基本計画に関すること。
- (3) その他町長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員25人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 町教育委員会の委員
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 知識経験を有する者
- (4) 公募による者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、町長が必要と認める者

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から、審議会における調査及び審議が終了し、その結果を町長に答申するまでの期間とする。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 審議会は、必要があると認めるときは、審議会の会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行後最初に開かれる審議会は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が招集する。

武豊町総合計画審議会委員名簿

資料2

期間：令和7年3月11日から
第6次武豊町総合計画後期基本計画に関する答申まで

(敬称略)

	区分	氏名	ふりがな	団体名等	役職等
1	町教育委員会委員	浅野 俊太郎	あさの しゅんたろう	武豊町教育委員会	教育長職務代理
2	各種団体の代表者	原田 時男	はらだ ときお	武豊町農業委員会	副会長
3	各種団体の代表者	福田 昌寛	ふくだ まさひろ	連合愛知知多地域協議会	
4	各種団体の代表者	橋詰 弥久雄	はしづめ やくお	武豊町商工会	会長
5	各種団体の代表者	森田 広幸	もりた ひろゆき	あいち知多農業協同組合	武豊地域担当理事 代表
6	各種団体の代表者	岩部 雅人	いわべ まさと	武豊町経営者懇談会	代表
7	各種団体の代表者	中川 美知夫	なかがわ みちお	武豊町社会福祉協議会	会長
8	各種団体の代表者	小藤 省吾	こうとう しょうご	武豊町文化協会	
9	各種団体の代表者	栗本 孝成	くりもと たかなり	武豊町老人クラブ連合会	会長
10	各種団体の代表者	中込 理人	なかごめ りひと	武豊町子ども会育成連絡協議会	会長
11	各種団体の代表者	三厨 晴恵	みくりや はるえ	武豊町スポーツ協会	副会長
12	各種団体の代表者	井上 久枝	いのうえ ひさえ	武豊町ボランティアセンター	代表
13	知識経験を有する者	明壁 恭子	あすかべ きょうこ	まちづくり会議	代表
14	知識経験を有する者	青木 宏和	あおき ひろかず	長尾部	部長
15	知識経験を有する者	出口 晋	でぐち しん	大足区	区長
16	知識経験を有する者	渡邊 好文	わたなべ よしふみ	富貴地区区長会	会長
17	知識経験を有する者	千頭 聡	ちかみ さとし	日本福祉大学	教授
18	知識経験を有する者	岩瀬 雅哉	いわせ まさや	愛知県総務局市町村課地域振興 室 兼 愛知県知多県民事務所 県民防災安全課	担当課長
19	公募による者	羽山 英幸	はやま ひでゆき	一般公募	
20	公募による者	奥村 圭子	おくむら けいこ	一般公募	
21	公募による者	鳥本 靖之	とりもと やすゆき	一般公募	
22	公募による者	市川 大輔	いちかわ だいすけ	一般公募	
23	公募による者	高木 正博	たかぎ まさひろ	一般公募	
24	公募による者	田中 晴雄	たなか はるお	一般公募	

令和6年度 町民等意識調査の結果について

【概要報告】

第6次武豊町総合計画の進捗管理を行うとともに、今後の施策・事業を検討する上で
の基礎資料とするために、次の5種類の調査を実施しました。

- ① 町民意識調査
- ② 中学生意識調査
- ③ 若者・子育て世代アンケート調査
- ④ 企業・事業所アンケート調査
- ⑤ 来訪者Webアンケート調査

本資料は、意識調査[アンケート]の結果の要点を取りまとめたものです。

○町民等意識調査報告

- 1 ①町民意識調査・②中学生意識調査・③若者・子育て世代アンケート調査について
- 2 物価高騰、SDGs、ゼロカーボンシティ宣言関係アンケート調査について
(①町民意識調査・④企業・事業所アンケート調査内で実施)
- 3 ④企業・事業所アンケート調査について
(従業員の子育て支援については、③若者・子育て世代アンケート調査の結果も含む)
- 4 ⑤来訪者Webアンケート調査について

調査の概要

それぞれの調査の対象、方法、期間、回収状況は以下の通りです。

① 町民意識調査	
調査対象	・武豊町在住の15歳以上の町民から無作為抽出した3,000人
調査方法	・郵送による配布・回収、または郵送による配布・Webによる回答回収
調査期間	・令和6年7月29日に郵送にて配布し、8月19日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 3,000票 有効回収数 1,605票 有効回収率 53.5% ・回答方法 紙:Web=72.2%:27.8%

② 中学生意識調査	
調査対象	・武豊町の中学校に在学する中学生(中学1・2年生 797名)
調査方法	・学校を通じ依頼、Webによる回答回収(一部郵送による回収)
調査期間	・令和6年7月1日に中学校に依頼、7月31日までに回収
回収状況	・配布数 797票 有効回収数 766票 有効回収率 96.1%

③ 若者・子育て世代アンケート調査	
調査対象	・町内の18歳以上40歳未満の町民から無作為抽出した1,000人
調査方法	・郵送による配布・回収、または郵送による配布・Webによる回答回収
調査期間	・令和6年7月29日に郵送にて配布し、8月19日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 1,000票 有効回収数 409票 有効回収率 40.9% ・回答方法 紙:Web=41.5%:58.5%

④ 企業・事業所アンケート調査	
調査対象	・武豊町内に立地する企業・事業所から無作為に抽出した500事業所
調査方法	・郵送による配布・回収、または郵送による配布・Webによる回答回収
調査期間	・令和6年7月29日に郵送にて配布し、8月19日を返信期限として回収
回収状況	・配布数 500票 有効回収数 231票 有効回収率 46.2% ・回答方法 紙:Web=72.5%:27.5%

⑤ 来訪者 Web アンケート調査	
調査対象	・dポイントクラブ会員を対象とし、その中で半年の間に武豊町に来訪履歴のある愛知県在住者(武豊町民除く)
調査方法	・Web上でのアンケート
調査期間	・令和6年7月31日より調査開始し、9月8日に終了 (調査を開始し、目標回収数(1,000)が達成した時点で終了)
回収状況	・回収数 1,000票

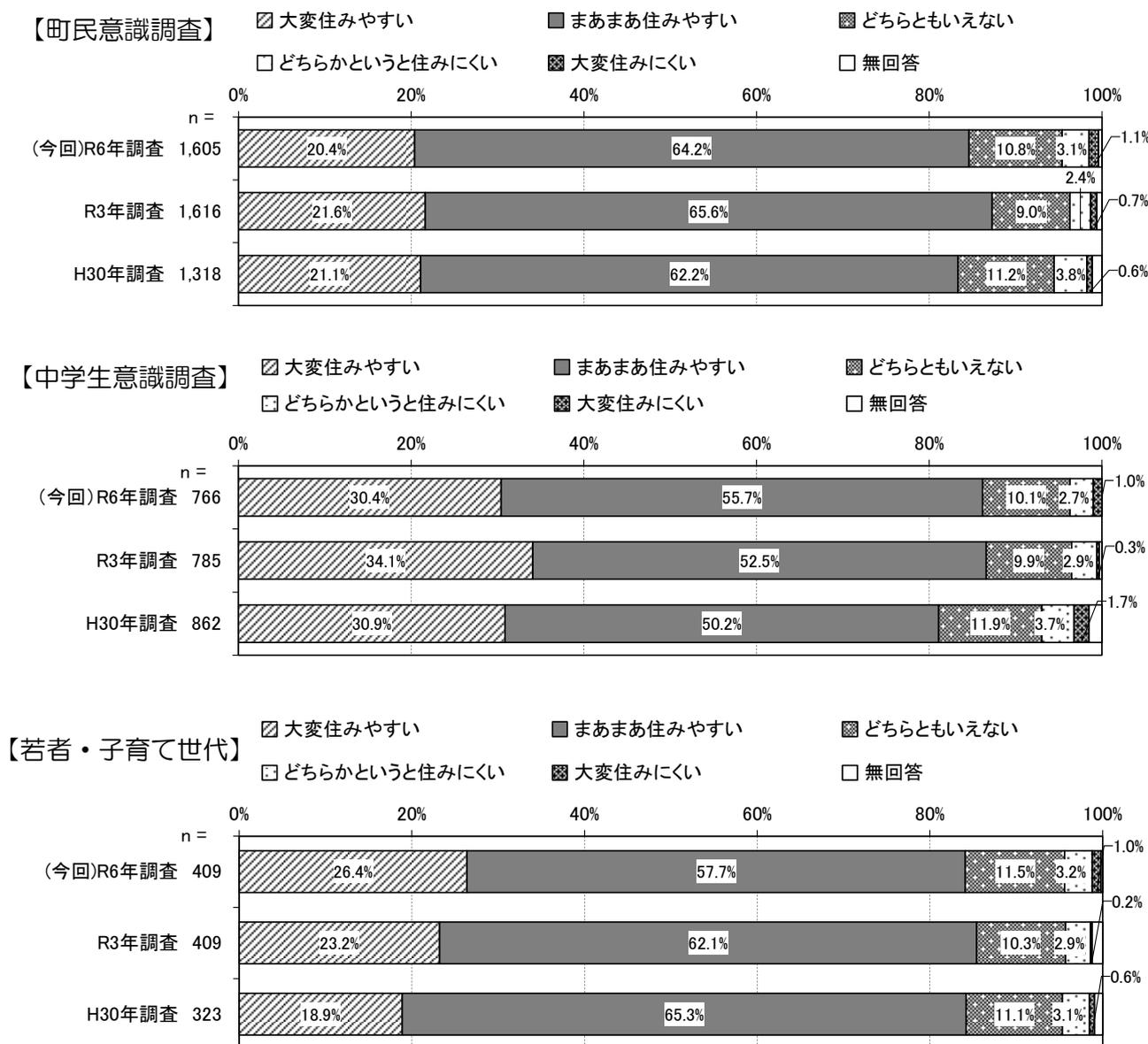
調査の結果

1 ①町民意識調査・②中学生意識調査・③若者・子育て世代アンケート調査について

(1)武豊町の暮らしやすさ

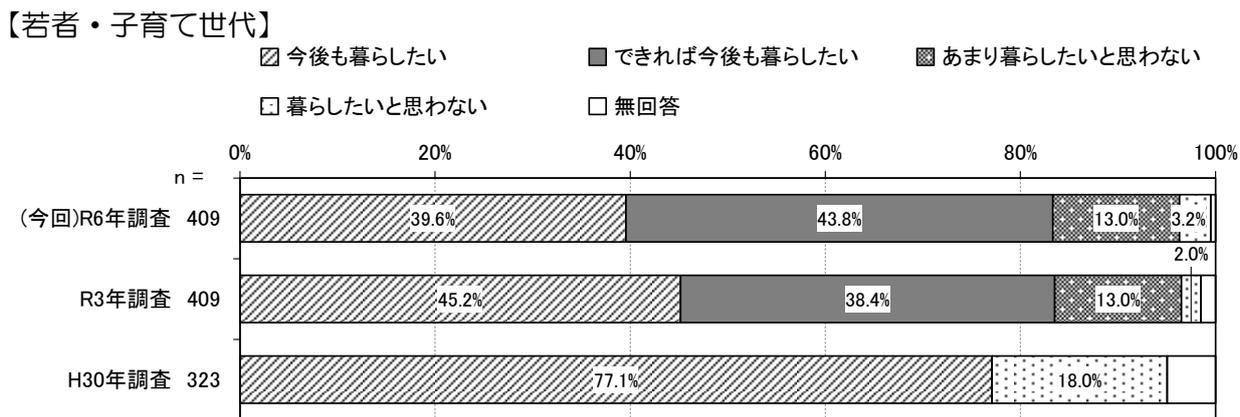
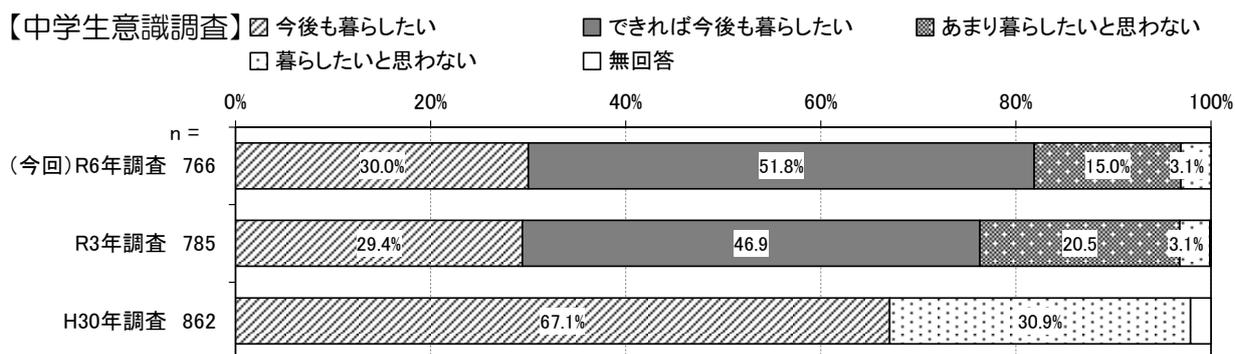
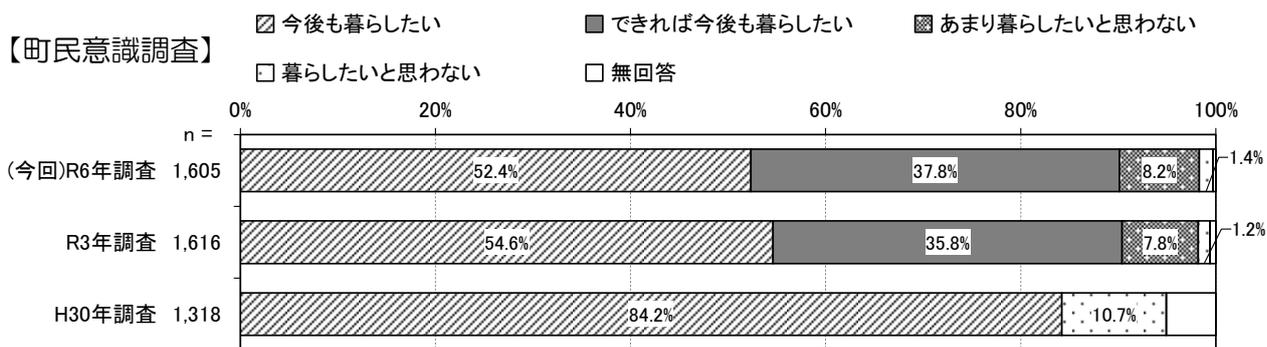
・「図表-1 住みごこち」では、町民意識調査、中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査のいずれの調査でも、8割以上の回答者が『住みやすい(「大変住みやすい」+「まあまあ住みやすい」)』と評価しています。いずれの調査でも、令和3年調査と比べると『住みやすい』は下降していますが、平成30年調査と比べると、町民、中学生では高まっています。

図表-1 住みごこち(過去調査との比較)



- ・「図表-2 今後の居住意向」では、『今後も暮らしたい(「今後も暮らしたい」+「できれば今後も暮らしたい)』の割合は、町民意識調査では 90.2%と9割を超える非常に高い割合を示しています。中学生意識調査では 81.8%、若者・子育て世代アンケート調査では 83.4%です。
- ・令和3年調査と比べると、町民も若者・子育て世代も同程度ですが、中学生では『今後も暮らしたい』が 5.5 ポイント上昇しています。

図表-2 今後の居住意向(過去調査との比較)



※いずれの調査も、平成 30 年調査までは、「今後も暮らしたい」と「暮らしたいと思わない」の2つの選択肢で回答を求めている。

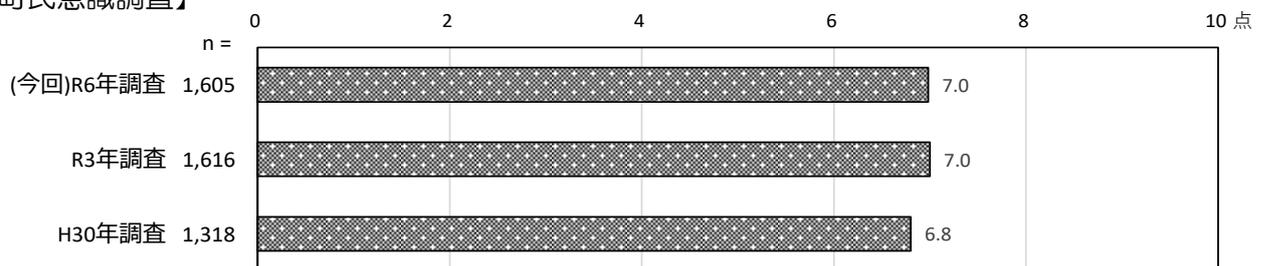
(2)幸福度

- ・「**図表-3 現在の幸福度**」では、幸福度の平均点※をみると、町民意識調査では7.0点、中学生意識調査では7.1点となっています。経年的にみると6～7点付近を推移していますが、今回の調査結果はいずれも令和3年調査と同じ傾向となっています。
- ・「**図表-4 5年前と比べた幸福感の変化**」では、「より幸せになった」が平成30年調査から順に、19.1%、21.7%、23.9%と増加していますが、「より不幸になった」も7.4%、7.5%、10.0%と増加しています。なお、「より幸せになった」と「変わらない」の合計は89.1%で、約9割の方が幸福感を維持しています。

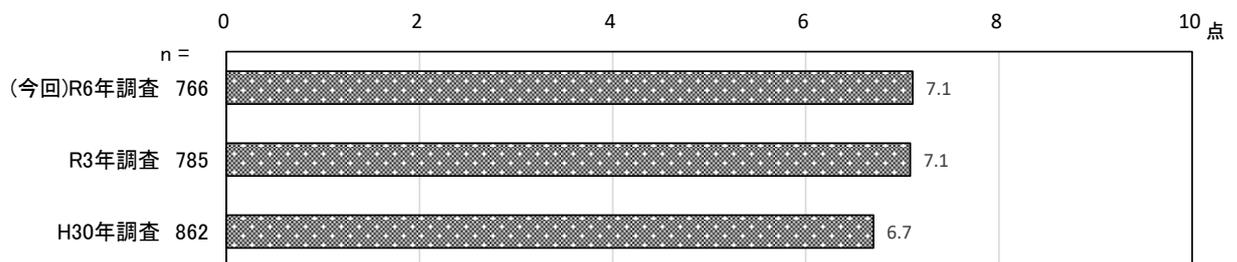
※幸福度の平均点：回答者が幸福度について10段階評価した点数を平均したものです。

図表-3 現在の幸福度(過去調査との比較)

【町民意識調査】

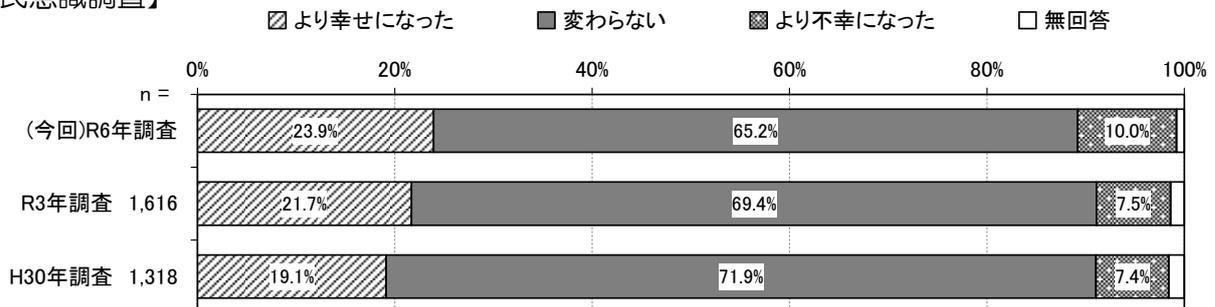


【中学生意識調査】



図表-4 5年前と比べた幸福感の変化(過去調査との比較)

【町民意識調査】

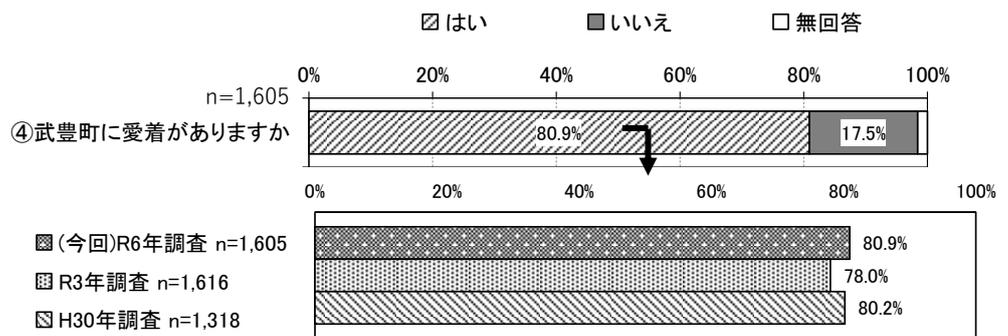


(3) 武豊町への愛着、町の魅力・イメージ

- ・町民意識調査の「**図表-5 武豊町への愛着**」では、80.9%が「武豊町に愛着がある」と回答しており、令和3年調査、平成30年調査よりも高くなっています。
- ・中学生意識調査の「**図表-6 武豊町に対する好感度**」では、9割以上(94.3%)が『武豊町のことが好き』と回答しており、令和3年調査、平成30年調査よりも高くなっています。
- ・若者・子育て世代アンケート調査の「**図表-7 武豊町への愛着や親しみ**」では、約7割(73.3%)が武豊町に愛着や親しみを『感じている』と回答しており、令和3年調査、平成30年調査よりも高くなっています。
- ・これらの調査結果から、町民の大半は町への愛着を持っていることがわかります。
- ・「**図表-8 町の魅力、自慢できること**」では「良好な居住環境」、「山車・祭りなどの伝統文化」、「緑地や河川、湿地などの自然環境」、「醸造業などの地場産業と町並み」、「ゆめたろうプラザなどでの文化活動」の5項目が2割以上の回答を得ています。

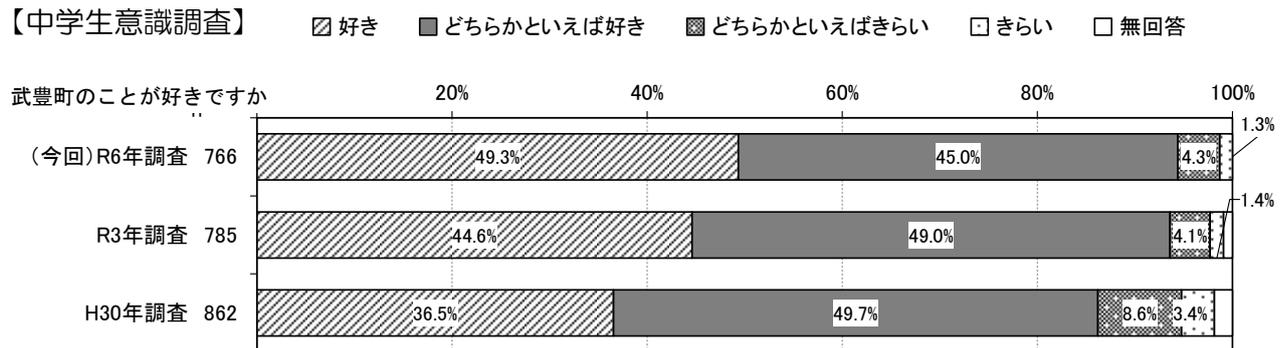
図表-5 武豊町への愛着(過去調査との比較)

【町民意識調査】



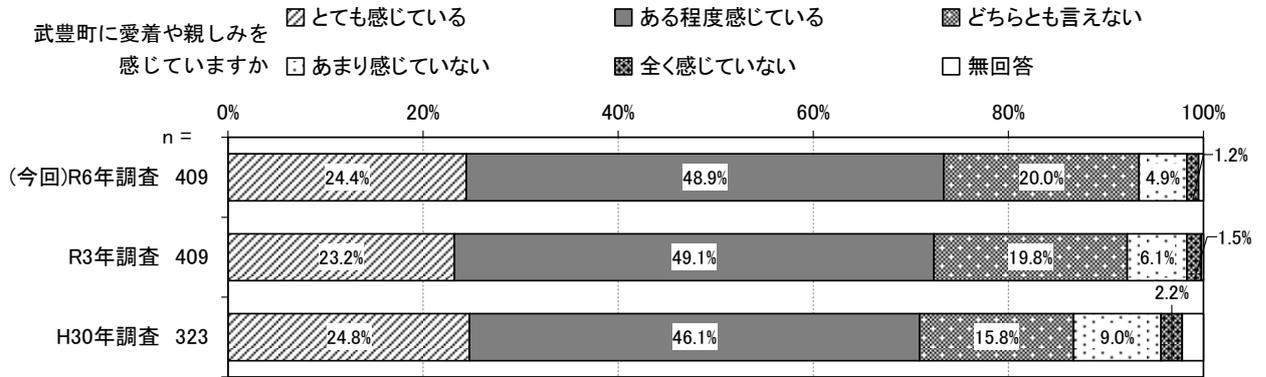
図表-6 武豊町に対する好感度(過去調査との比較)

【中学生意識調査】



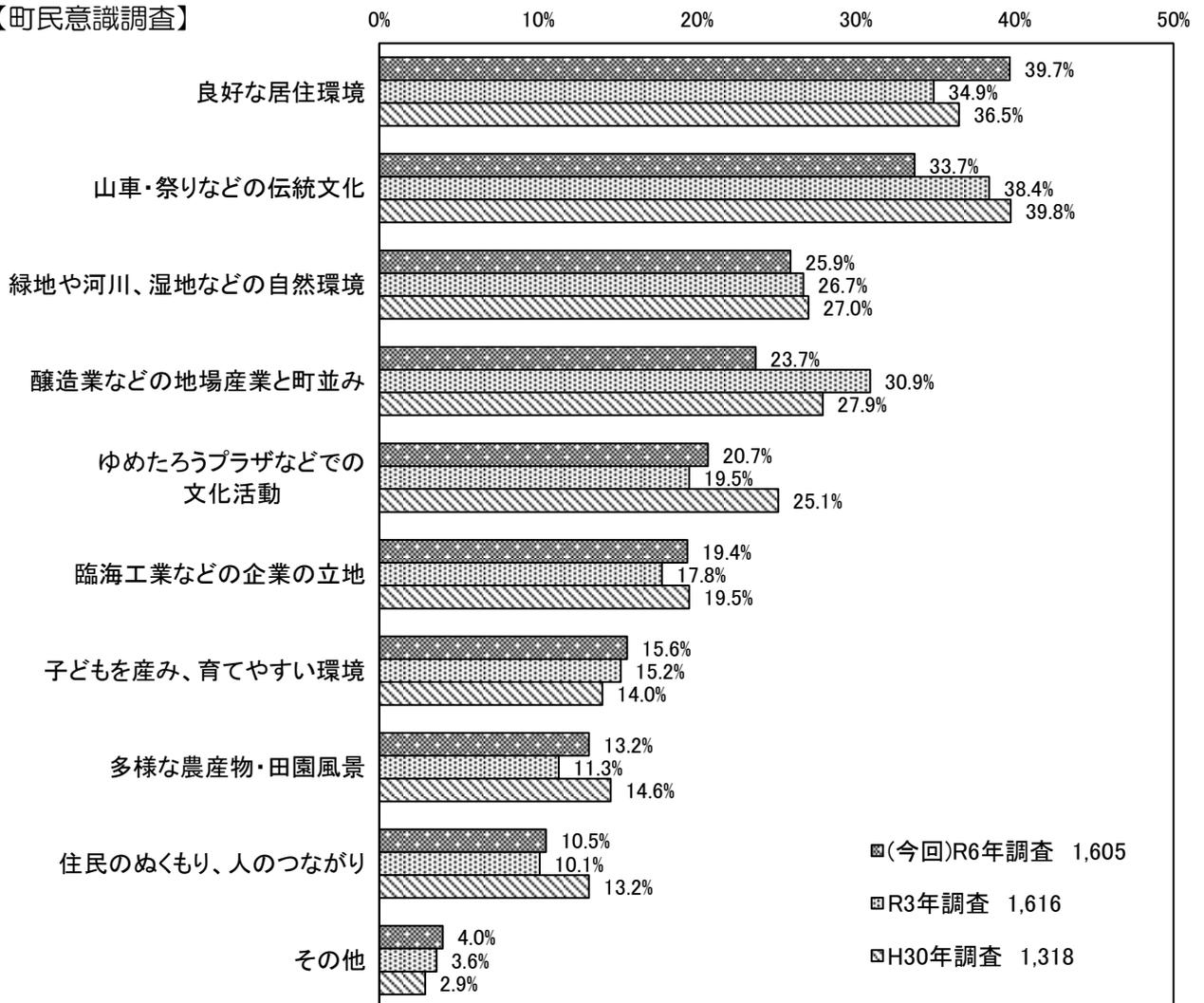
図表-7 武豊町への愛着や親しみ(過去調査との比較)

【若者・子育て世代】



図表-8 町の魅力、自慢できること(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)-

【町民意識調査】



(4)まちづくりに対する評価

・町民意識調査では、第6次総合計画で進めている37項目の取組について、満足度と重要度を評価しました。その結果、『重要度指数』が高いにも関わらず『満足度指数』が低い「重点改善分野」には次の7項目が該当する結果となりました。

- ・ 4:公共交通機関が利用しやすく便利である
- ・ 15:病院や休日診療などを受診しやすい
- ・ 17:高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている
- ・ 18:災害への備えや安全性が確保されている
- ・ 20:徒歩や自転車で安全に道路を通行できる
- ・ 32:行政に町民の意向が反映されている
- ・ 34:行政サービスが充実している

・令和3年調査でも「4:公共交通機関が利用しやすく便利である」、「14:病院や休日診療などを受診しやすい」、「20:徒歩や自転車で安全に道路を通行できる」、「32:行政に町民の意向が反映されている」、「34:行政サービスが充実している」、「37:健全に行財政が運営されている」の6項目が「重点改善分野」になっていましたが、今回調査では「37:健全に行財政が運営されている」がはずれる一方、新たに「17:高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている」と「18:災害への備えや安全性が確保されている」が追加され、合計で7項目になっています。

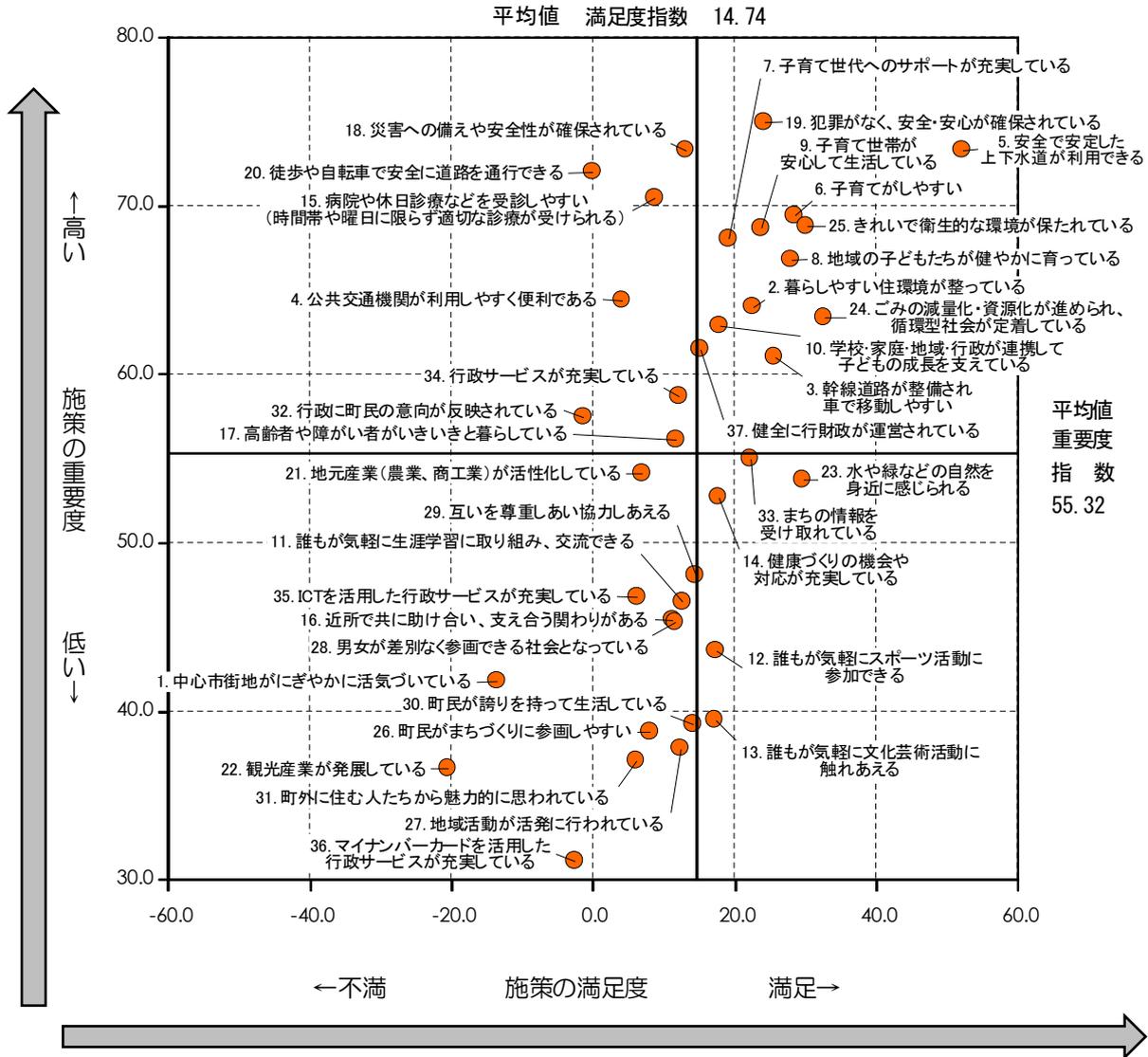
・なお、今回の令和6年調査では「7:子育て世代へのサポートが充実している」、「35:デジタル機器やICTを活用した行政サービスが充実している」、「36:マイナンバーカードを活用した行政サービスが充実している」の3項目を新たに追加していますが、「7:子育て世代へのサポートが充実している」は他の子ども関連の項目と同様に、『重要度指数』も『満足度指数』も高い「継続増進分野」となっています。また、「35:デジタル機器やICTを活用した行政サービスが充実している」と「36:マイナンバーカードを活用した行政サービスが充実している」については、『重要度指数』も『満足度指数』も低い「改善分野」となっています。

表-9 満足度指数と重要度指数からみた施策評価の考え方

高い ↑ 重要度指数 ↓ 低い	A 重点改善分野 町民が重要と感じている項目でありながら満足度が低い。重点的に課題解決に取り組む必要がある施策分野。	B 継続増進分野 町民が重要と感じており、満足度も高い。現在の施策水準を維持または増進していく必要がある施策分野。	
	C 改善分野 町民は重要と感じていない項目で満足度も低い。事業の必要性の検証や内容の見直し等の改善が必要となる分野。	D 維持分野 町民は重要と感じていない項目であるが満足度は高い。事業の必要性を検証し、満足度を維持していく施策分野。	
	← 低い	満足度指数	→ 高い

図表-10 満足度指数と重要度指数 散布図

【町民意識調査】



基本目標	No	施策項目	満足度指数	重要度指数
分野1 都市環境	1	中心市街地がにぎやかに活気づいている	-13.44	41.73
	2	暮らしやすい住環境が整っている	22.66	63.94
	3	幹線道路が整備され車で移動しやすい	25.78	61.02
	4	公共交通機関が利用しやすく便利である	4.28	64.35
	5	安全で安定した上下水道が利用できる	52.34	73.26
分野2 子ども	6	子育てがしやすい	28.59	69.38
	7	子育て世代へのサポートが充実している	19.31	67.98
	8	地域の子どもたちが健やかに育っている	28.12	66.75
	9	子育て世帯が安心して生活している	23.88	68.61
分野3 学び	10	学校・家庭・地域・行政が連携して子どもの成長を支えている	18.03	62.82
	11	誰もが気軽に生涯学習に取り組み、交流できる	12.79	46.47
	12	誰もが気軽にスポーツ活動に参加できる	17.49	43.53
	13	誰もが気軽に文化芸術活動に触れあえる	17.41	39.47
分野4 健康・福祉	14	健康づくりの機会や対応が充実している	17.94	52.65
	15	病院や休日診療などを受診しやすい（時間帯や曜日に限らず適切な診療が受けられる）	8.95	70.40
	16	近所で共に助け合い、支え合う関わりがある	11.44	45.37
	17	高齢者や障がい者がいきいきと暮らしている	11.92	56.09
分野5 安全・安心	18	災害への備えや安全性が確保されている	13.34	73.24
	19	犯罪がなく、安全・安心が確保されている	24.28	74.91
	20	徒歩や自転車で安全に道路を通行できる	0.10	71.95
分野6 産業・交流	21	地元産業（農業、商工業）が活性化している	7.06	54.10
	22	観光産業が発展している	-20.28	36.57
分野7 環境	23	水や緑などの自然を身近に感じられる	29.76	53.71
	24	ごみの減量化・資源化が進められ、循環型社会が定着している	32.85	63.34
	25	きれいで衛生的な環境が保たれている	30.26	68.77
分野8 まちづくり ・地域経営	26	町民がまちづくりに参画しやすい	8.20	38.75
	27	地域活動が活発に行われている	12.52	37.76
	28	男女が差別なく参画できる社会となっている	11.82	45.26
	29	互いを尊重しあい協力しあえる	14.62	48.06
	30	町民が誇りを持って生活している	14.34	39.20
	31	町外に住む人たちから魅力的に思われている	6.31	37.06
分野9 行財政	32	行政に町民の意向が反映されている	-1.19	57.40
	33	まちの情報を受け取れている	22.36	54.96
	34	行政サービスが充実している	12.26	58.66
	35	ICTを活用した行政サービスが充実している	6.44	46.76
	36	マイナンバーカードを活用した行政サービスが充実している	-2.41	31.10
	37	健全に行財政が運営されている	15.33	61.45
平均値			14.74	55.32

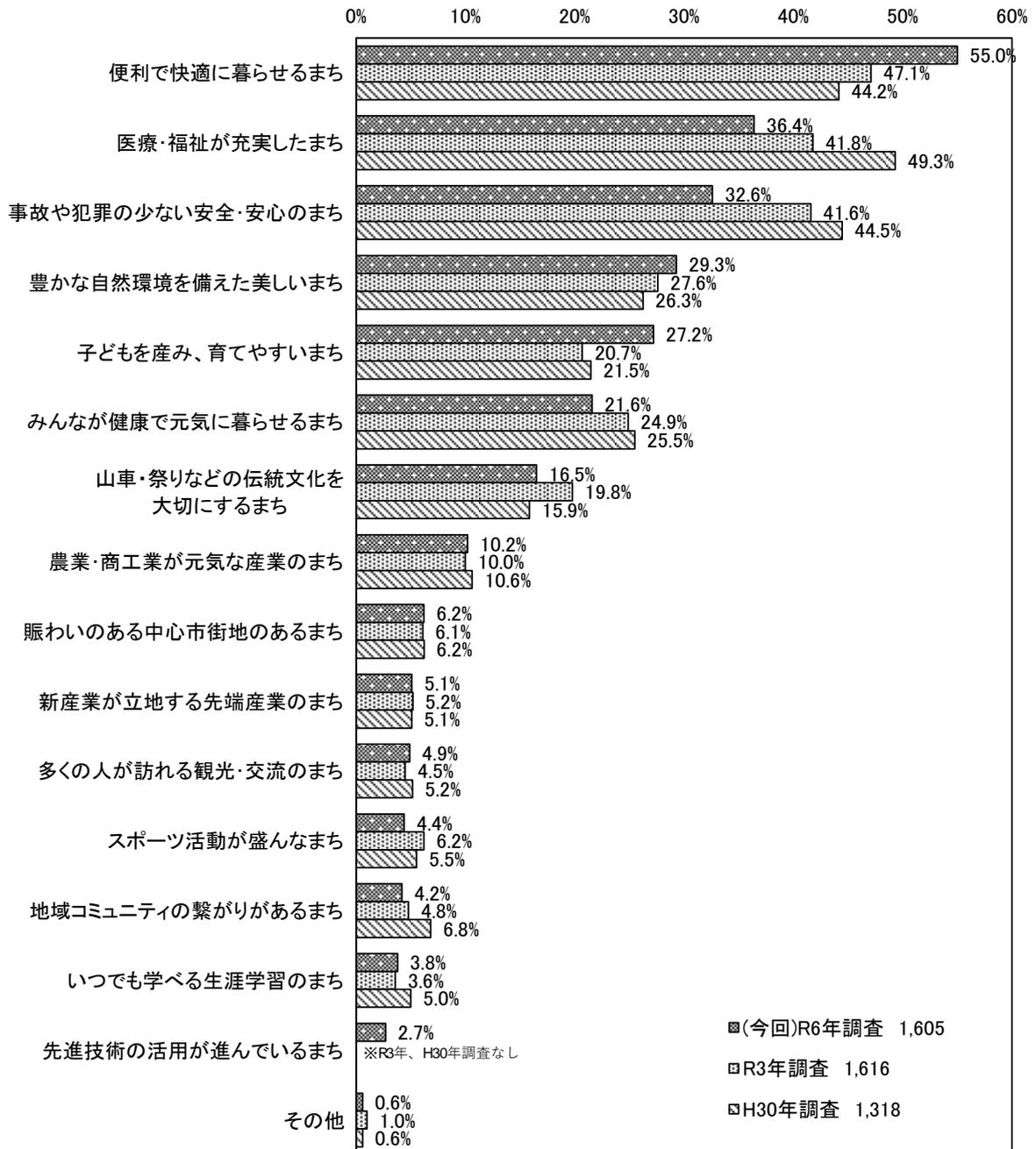
※「分野1～9」は、第6次武豊町総合計画の「基本計画 分野別計画」に相当。

(5) 今後のまちづくり

・町民意識調査の、「**図表-11 将来の町のイメージ**」では、「**便利で快適に暮らせるまち**」、「**医療・福祉が充実したまち**」、「**事故や犯罪の少ない安全・安心のまち**」の3項目が3割を超える高い回答を得ています。令和3年調査と比較すると、「便利で快適に暮らせるまち」は7.9ポイント上昇しています。また、「子どもを産み、育てやすいまち」は6.5ポイント上昇しています。

図表-11 将来の町のイメージ(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)-

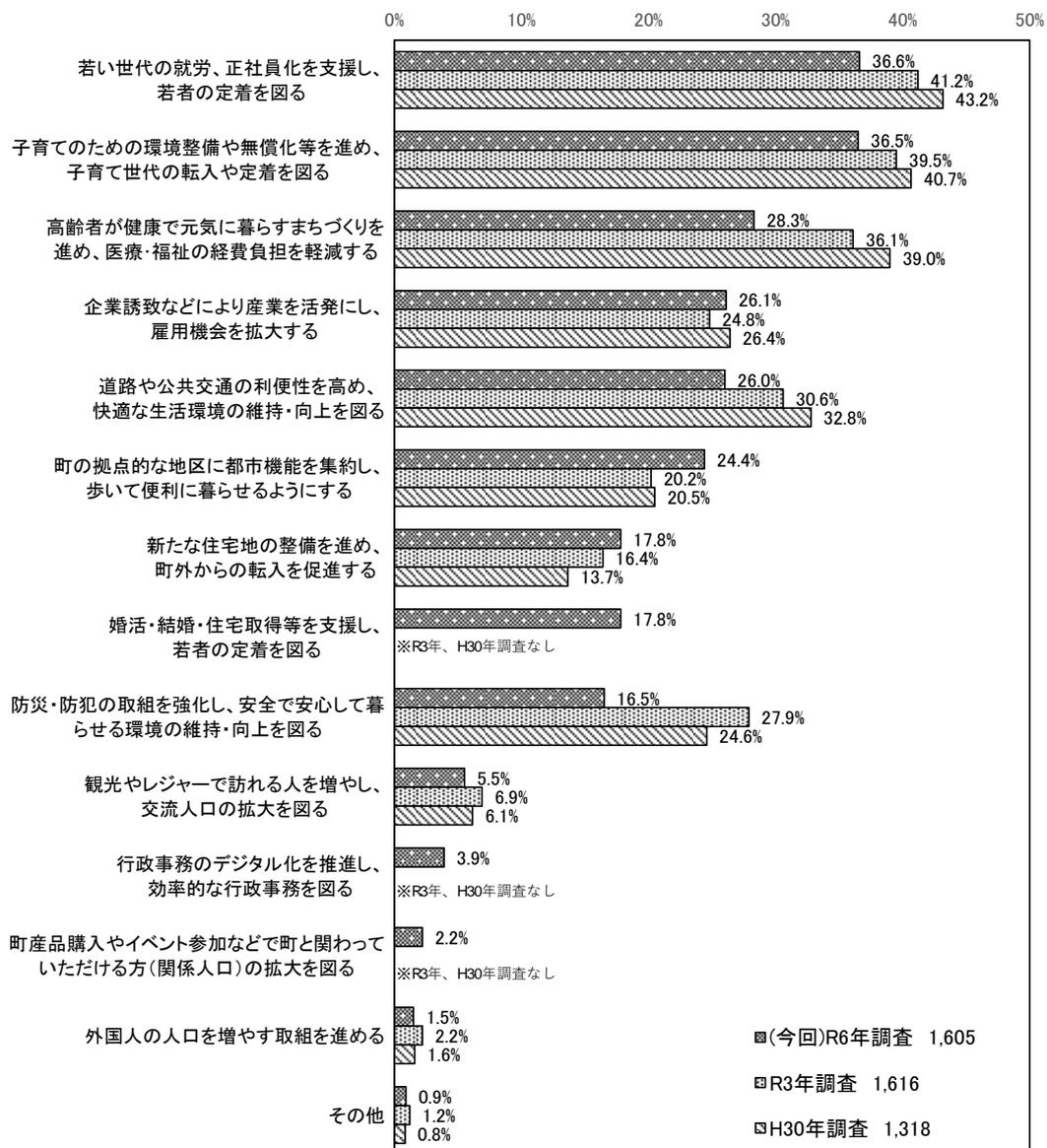
【町民意識調査】



・町民意識調査の、「図表-12 人口減少に対応するための取組」では、「若い世代の就労、正社員化を支援し、若者の定着を図る」、「子育てのための環境整備や無償化等を進め、子育て世代の転入や定着を図る」、「高齢者が健康で元気に暮らすまちづくりを進め、医療・福祉の経費負担を軽減する」、「企業誘致などにより産業を活発にし、雇用機会を拡大する」、「道路や公共交通の利便性を高め、快適な生活環境の維持・向上を図る」、「町の拠点的な地区に都市機能を集約し、歩いて便利に暮らせるようにする」の6項目が2割以上の回答を得ています。なお、これら6項目について令和3年調査と比べると、「町の拠点的な地区に都市機能を集約し、歩いて便利に暮らせるようにする」は4.2ポイント、「企業誘致などにより産業を活発にし、雇用機会を拡大する」は1.3ポイント上昇しています。

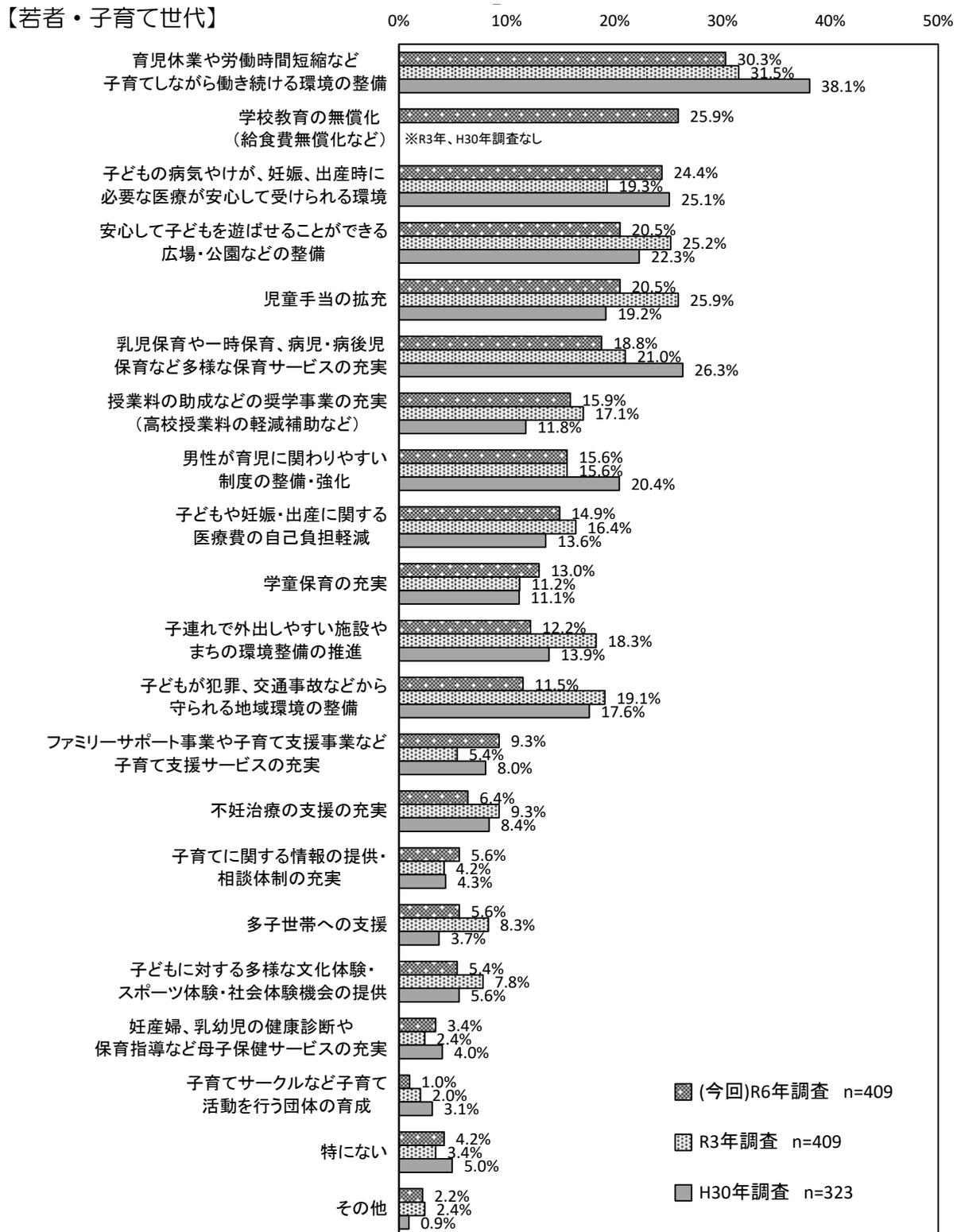
図表-12 人口減少に対応するための取組(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)-

【町民意識調査】



・若者・子育て世代アンケート調査の、「図表-13 子育てしやすい町にするために力を入れること」では、「育児休業や労働時間短縮など子育てしながら働き続ける環境の整備」、「学校教育の無償化(給食無償化など)」、「子どもの病気やけが、妊娠、出産時に必要な医療が安心して受けられる環境」の3項目が上位3つを占めました。

図表-13 子育てしやすい町にするために力を入れること(過去調査との比較) -複数回答(3つまで)



※今回調査より、新たに選択肢「学校教育の無償化(給食費無償化など)」を設けて回答を求めた。

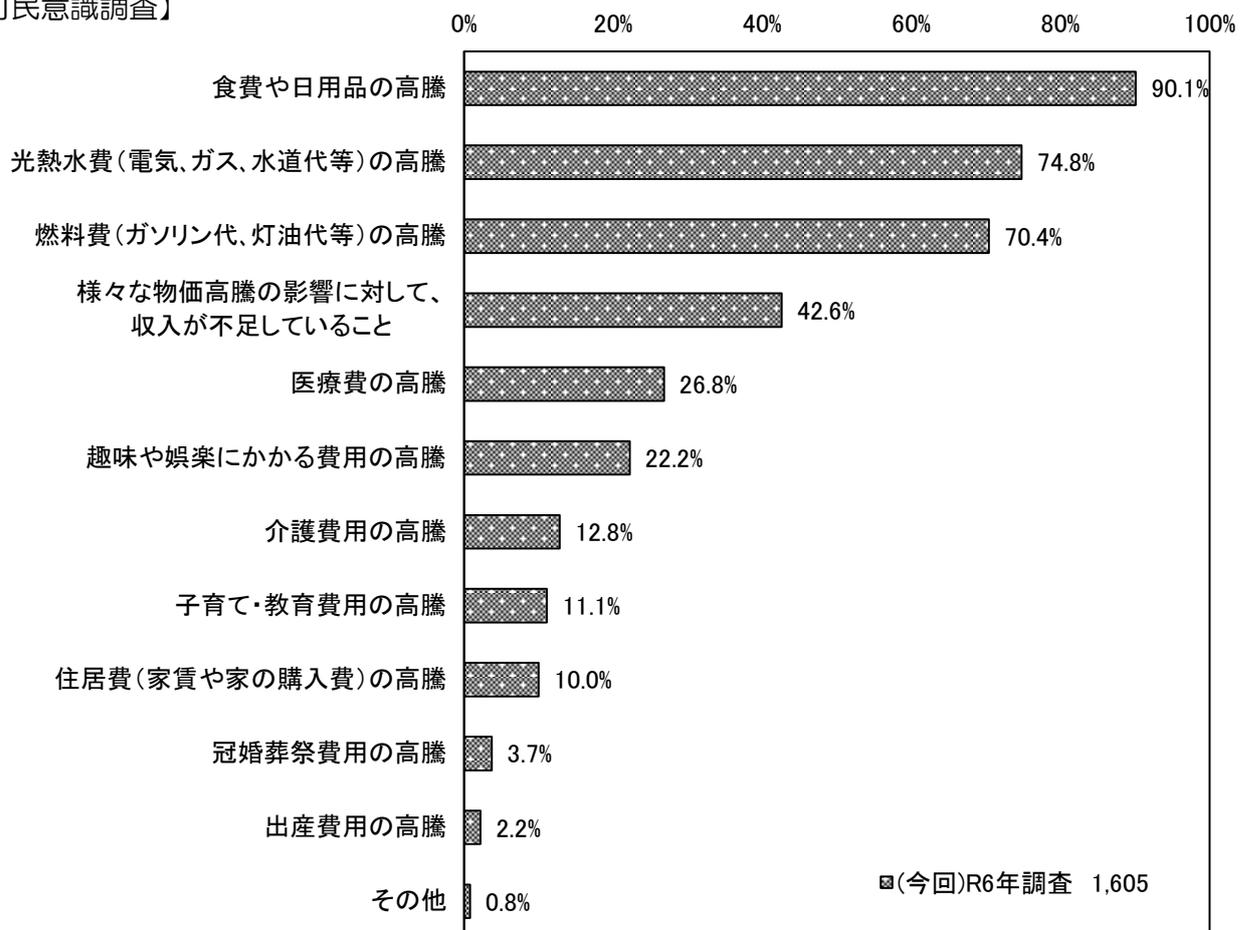
2 物価高騰、SDGs、ゼロカーボンシティ宣言関係アンケート調査について
 (①町民意識調査・④企業・事業所アンケート調査内で実施)

(1)物価高騰による家計への影響

- ・「**図表-14 物価高騰による家計への影響**」では、「食費や日用品の高騰」、「光熱費(電気、ガス、水道代等)の高騰」、「燃料費(ガソリン代、灯油代等)の高騰」が高くなっています。
- ・「**図表-15 行政に期待すること**」では、「商品券の配布」、「水道料金の減免」、「医療費の補助」が高くなっています。
- ・一方、企業・事業所にとっての物価高騰等による経営への影響をみると、「**図表-16 物価高騰等の影響の度合い**」では、「影響がある(継続している)」と回答した事業所は **76.2%**を占めています。特に製造業、運輸業・郵便業で高くなっています。
- ・「**図表-17 物価高騰等への対応**」では、「価格転嫁(既存商品・サービスの値上げ)」、「人件費以外の経費削減」、「工程改善・業務の効率化」などが行われています。

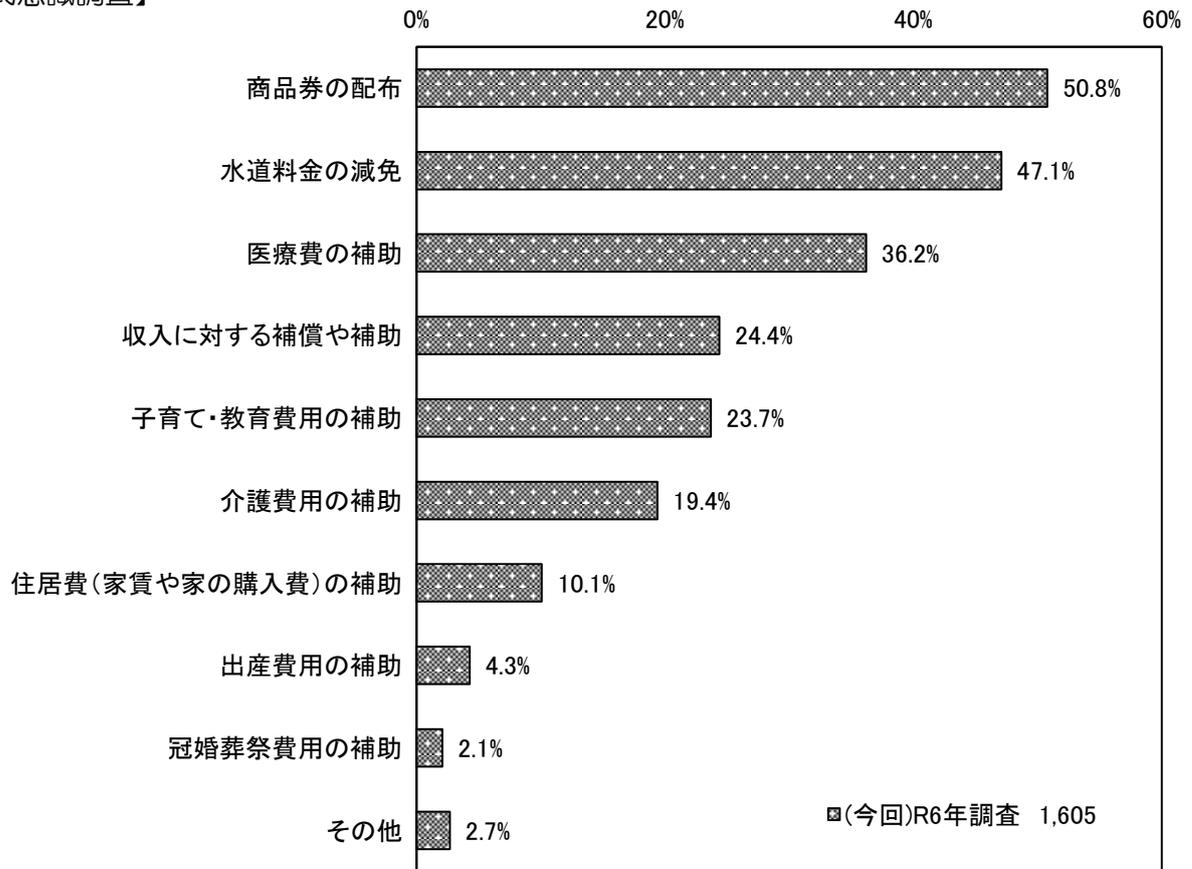
図表-14 物価高騰による家計への影響 -複数回答(該当するものすべて)-

【町民意識調査】



図表-15 行政に期待すること -複数回答(3つまで)-

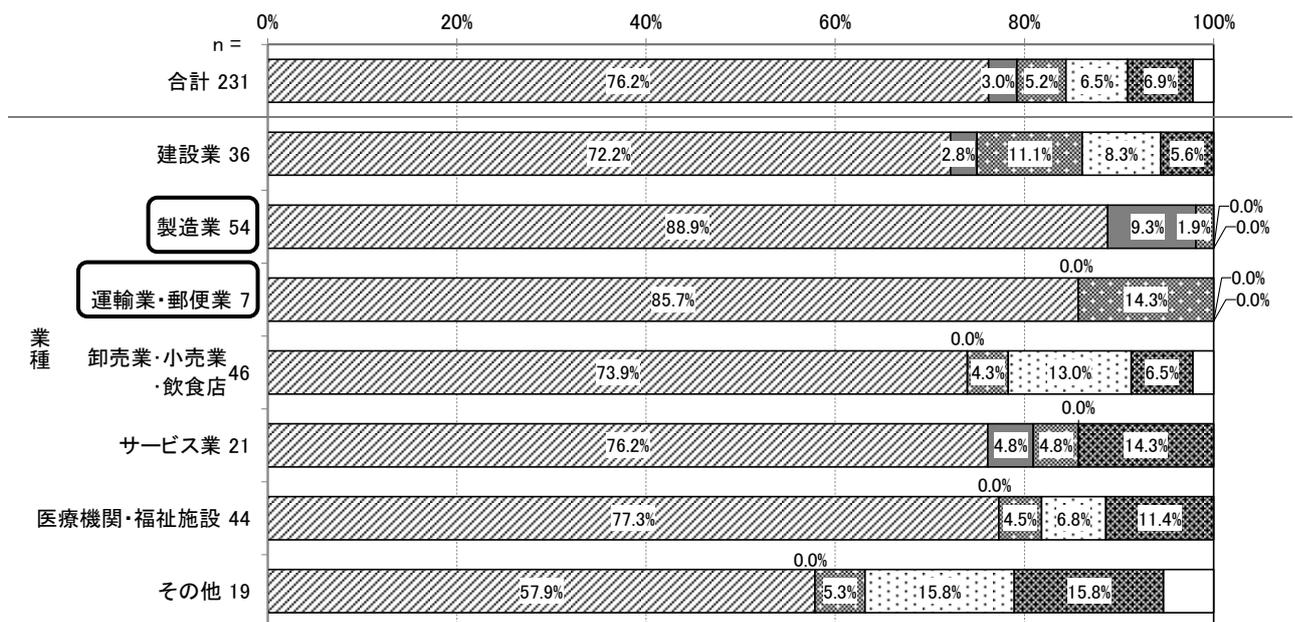
【町民意識調査】



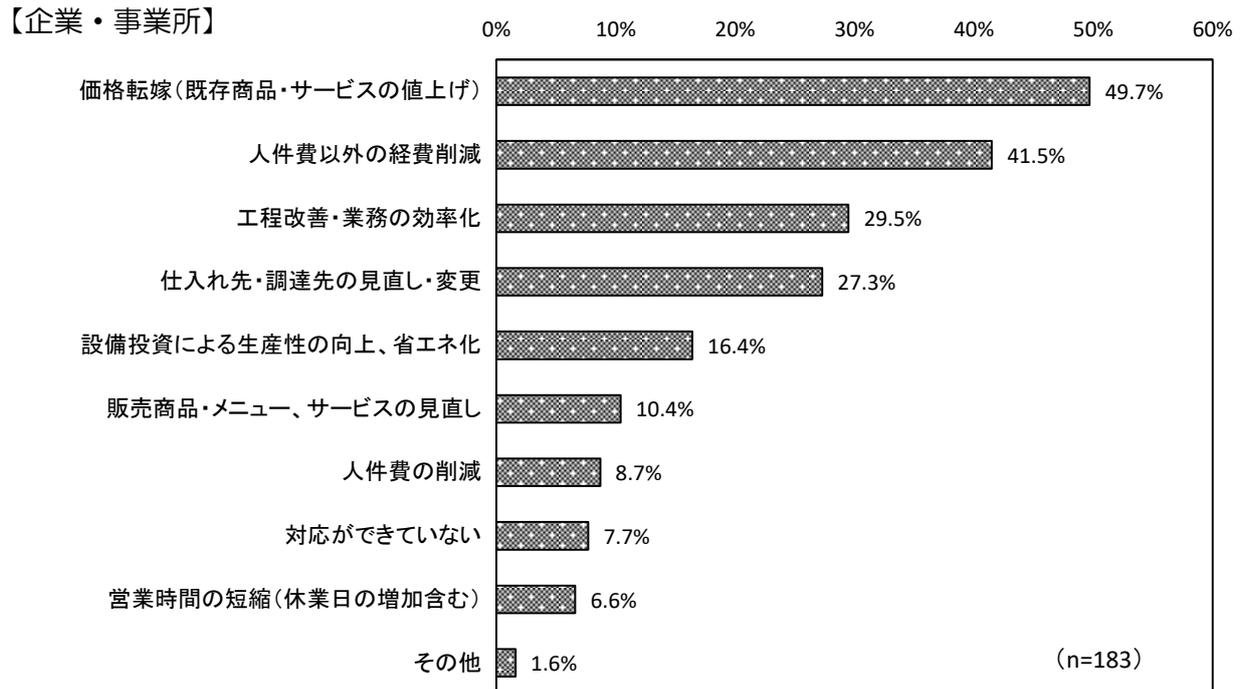
図表-16 物価高騰等の影響の度合い

【企業・事業所】

- ▨ 影響がある(継続している)
- ▩ 今後、影響が見込まれる(影響が出る可能性がある)
- 影響はあったが収束した
- 影響はない
- わからない
- 無回答



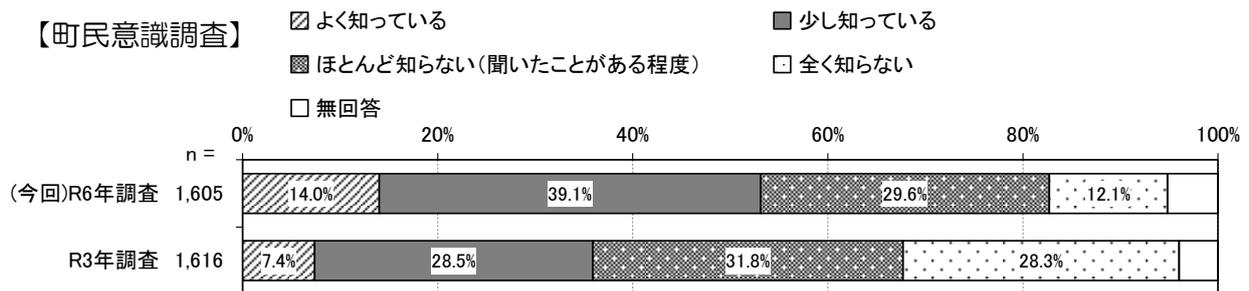
図表-17 物価高騰等への対応 -複数回答(該当するものすべて)-



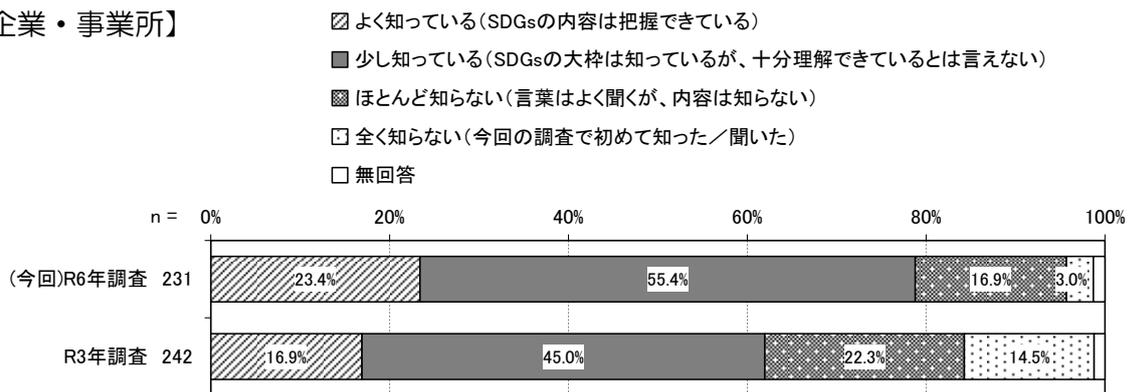
(2)SDGs

- ・「**図表-18** エスディーゼース SDGs (持続可能な開発目標)の認知度」では、『知っている(「よく知っている」+「少し知っている)』は、町民では 53.1%で半数以上を占めており、令和3年調査に比べて 17.2 ポイント上昇しています。また、企業・事業所では 78.8%と高く、令和3年調査に比べて 16.9 ポイント上昇し、認知度が高まっています。
- ・SDGsのことを『知っている(「よく知っている」+「少し知っている)』のうちで、**図表-19** SDGs に貢献する行動への取組」では、「取り組んでいる」が町民は 38.1%で、令和3年調査に比べて4ポイント低下しています。企業・事業所は 50.0%で、令和3年調査に比べて 5.3 ポイント上昇しています。

図表-18 SDGs 認知度(過去調査との比較)

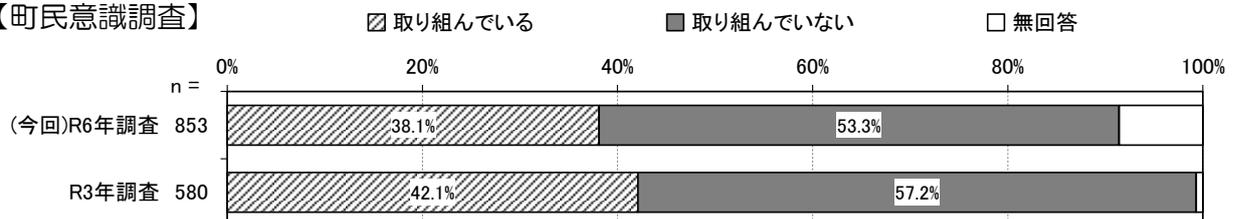


【企業・事業所】

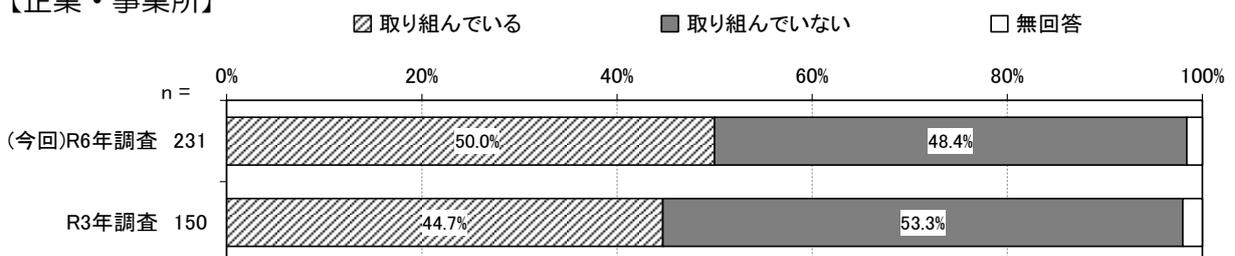


図表-19 SDGs に貢献する行動への取組(過去調査との比較)

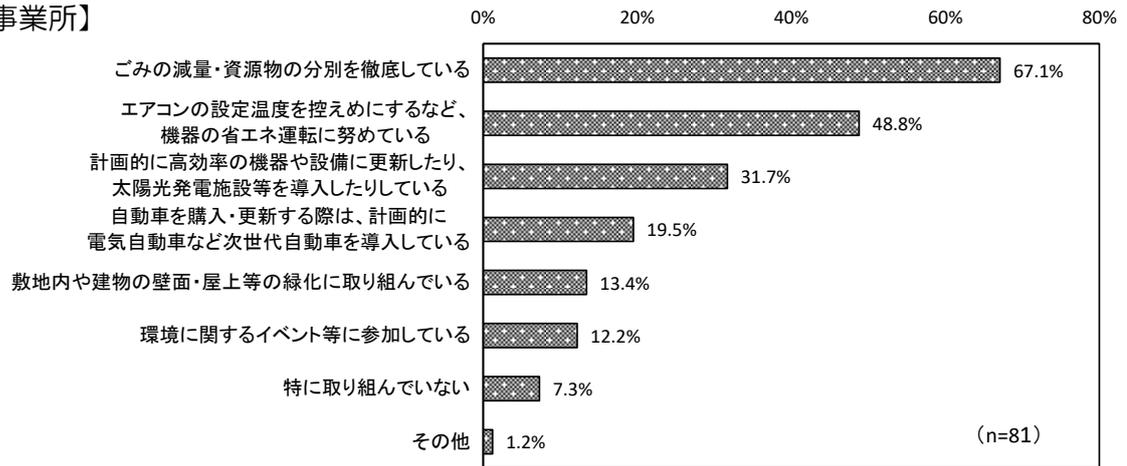
【町民意識調査】



【企業・事業所】



【企業・事業所】



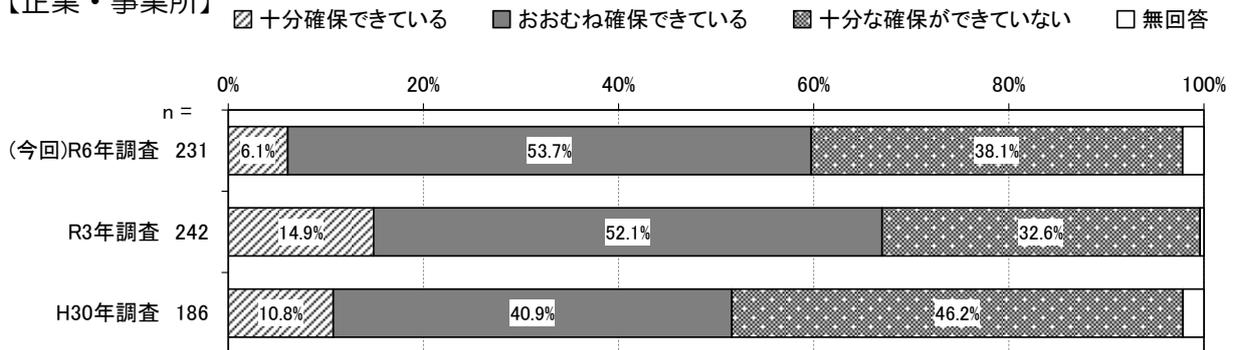
3 ④企業・事業所アンケート調査について

(1) 今後の事業展望

- ・「**図表-22 人材確保の見通し**」では、令和3年調査と比較して「十分確保できている」が8.8ポイント低くなる一方で、「十分な確保ができていない」は5.5ポイント高くなっており、人材を確保できていない事業所が増えています。
- ・「**図表-23 増加したい人材の勤務形態**」では、正社員を確保したいと考える事業所が7割となっています。
- ・「**図表-24 業績の展望に大きな影響を受けるとされる要因**」では、「人件費コスト」が最も高くなっており、これに次いで「原材料等コストの動向」、「同業他社との競合・競争」、「国内の市場動向」、「労働力市場の動向(労働力不足)」が高くなっています。
- ・「**図表-25 事業所の立地場所としての評価**」では、自然環境条件や従業員の生活環境、道路・交通条件は立地場所として高く評価していますが、労働力の確保の容易性は低い評価になっており、労働力を確保することが難しい場所だと評価しています。
- ・「**図表-26 今後のビジネス展開を行うために必要なこと**」では、「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」、「道路交通網の整備」、「公共交通の利便性の向上」が求められています。

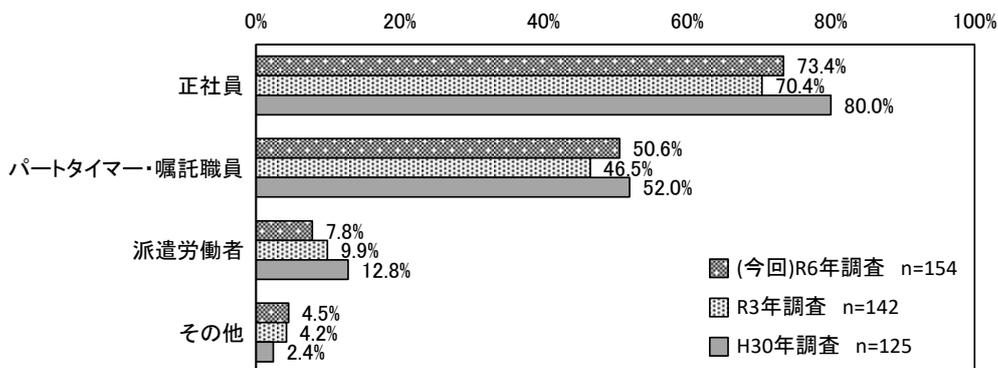
図表-22 人材確保の見通し(過去調査との比較)

【企業・事業所】



図表-23 増加したい人材の勤務形態(過去調査との比較)

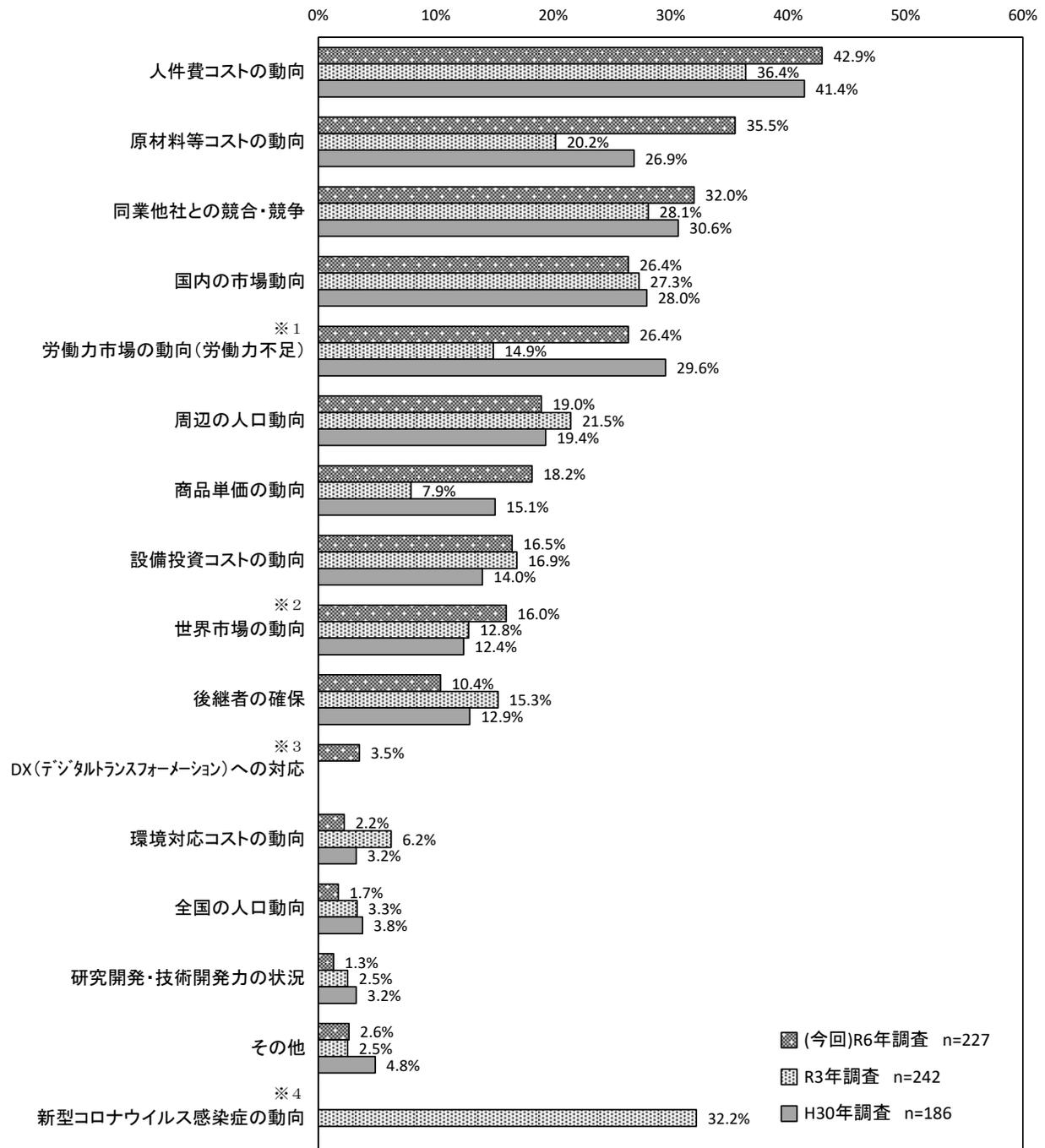
【企業・事業所】



図表-24 業績の展望に大きな影響を受けると思われる要因(過去調査との比較)

【企業・事業所】

-複数回答(3つまで)-



※1：「労働力市場の動向(労働力不足)」は、R3年度調査以前では「労働力市場(労働力の確保に見通し)」としていた。

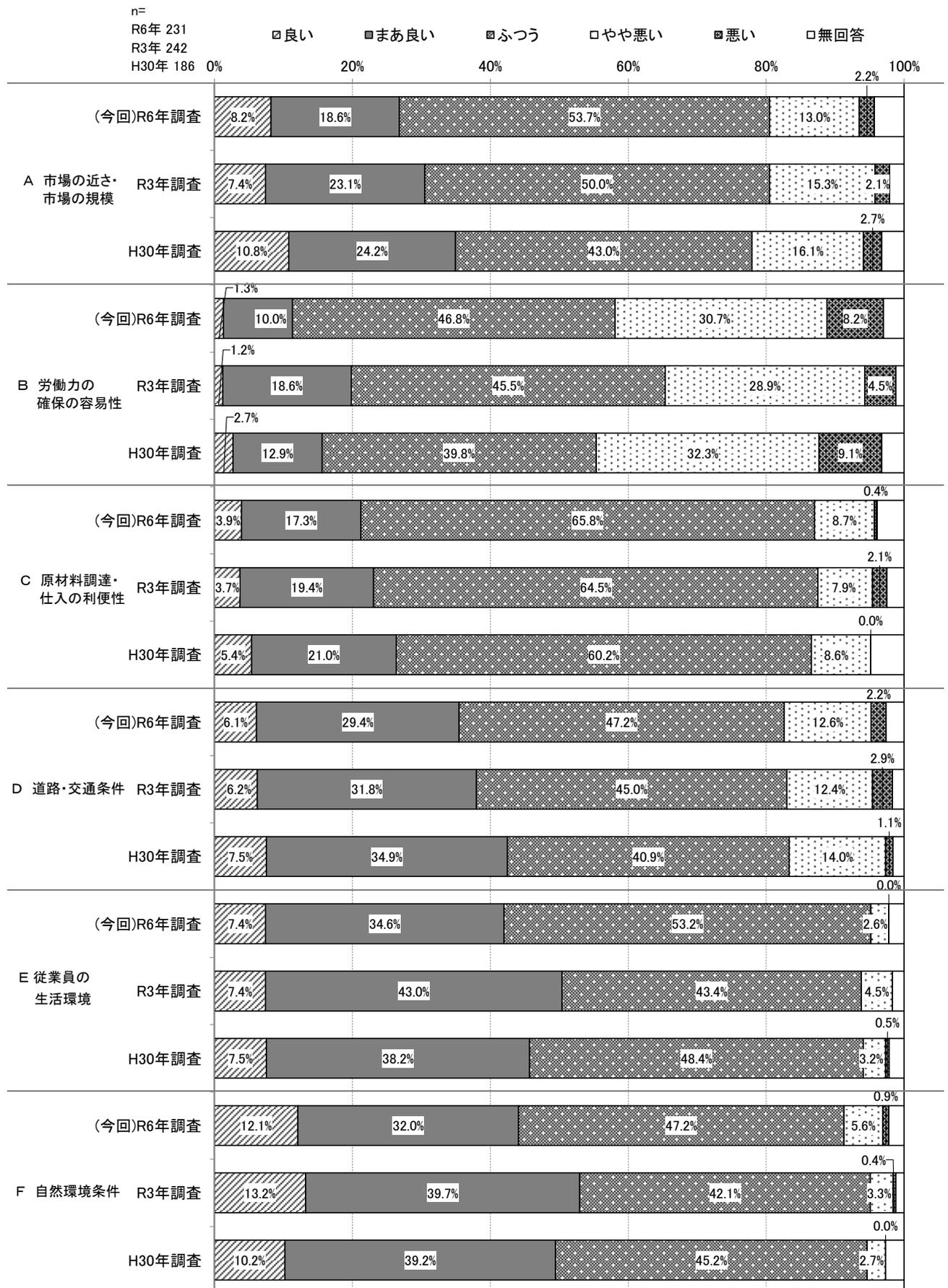
2：「世界市場の動向」は、R3年度調査以前では「市場の動向」としていた。

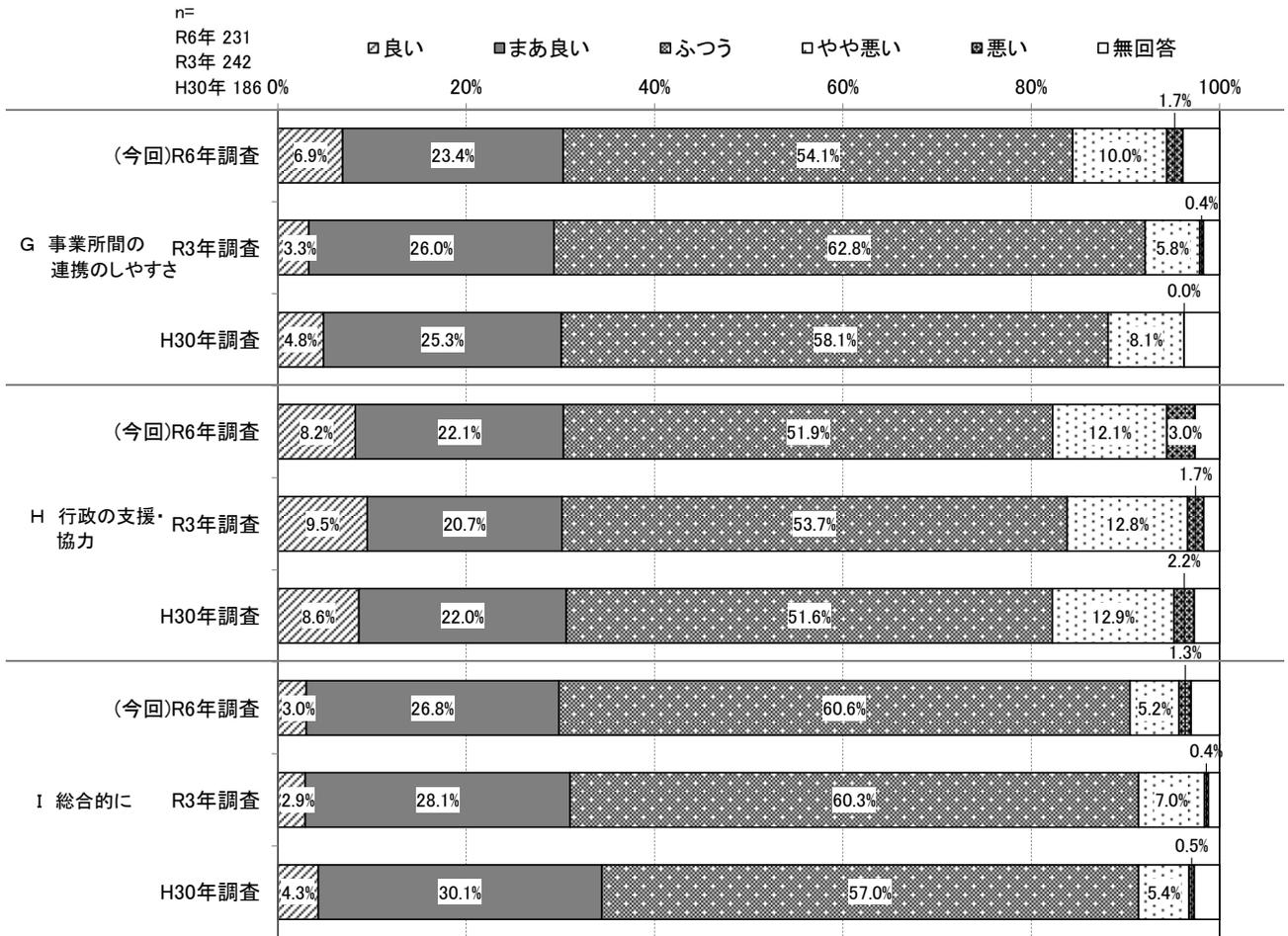
3：「DX(デジタルトランスフォーメーション)への対応」は今回調査から選択肢に加えたため、R3年以前は調査していない。

4：「新型コロナウイルス感染症の動向」は、R3年度調査のみ選択肢に加えたため、今回およびH30年には調査していない。

図表-25 事業所の立地場所としての評価(過去調査との比較)

【企業・事業所】

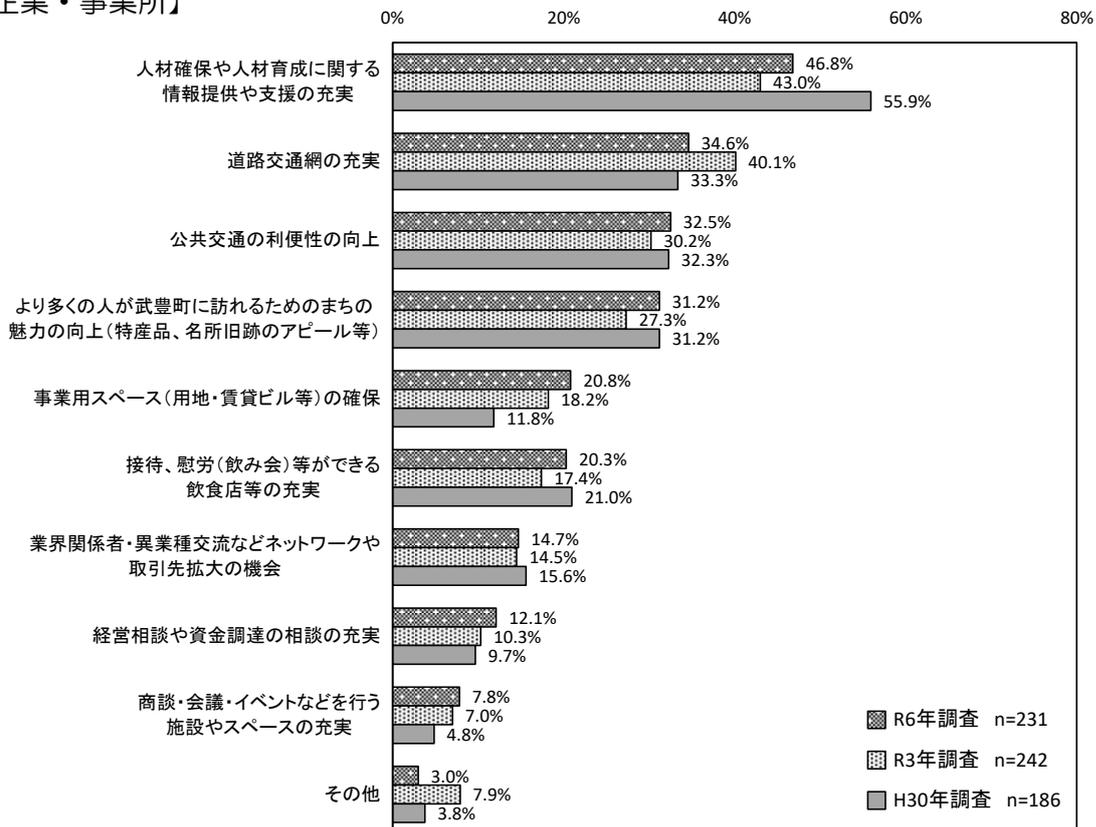




図表-26 今後のビジネス展開を行うために必要なこと(過去調査との比較)

【企業・事業所】

-複数回答(該当するものすべて)-

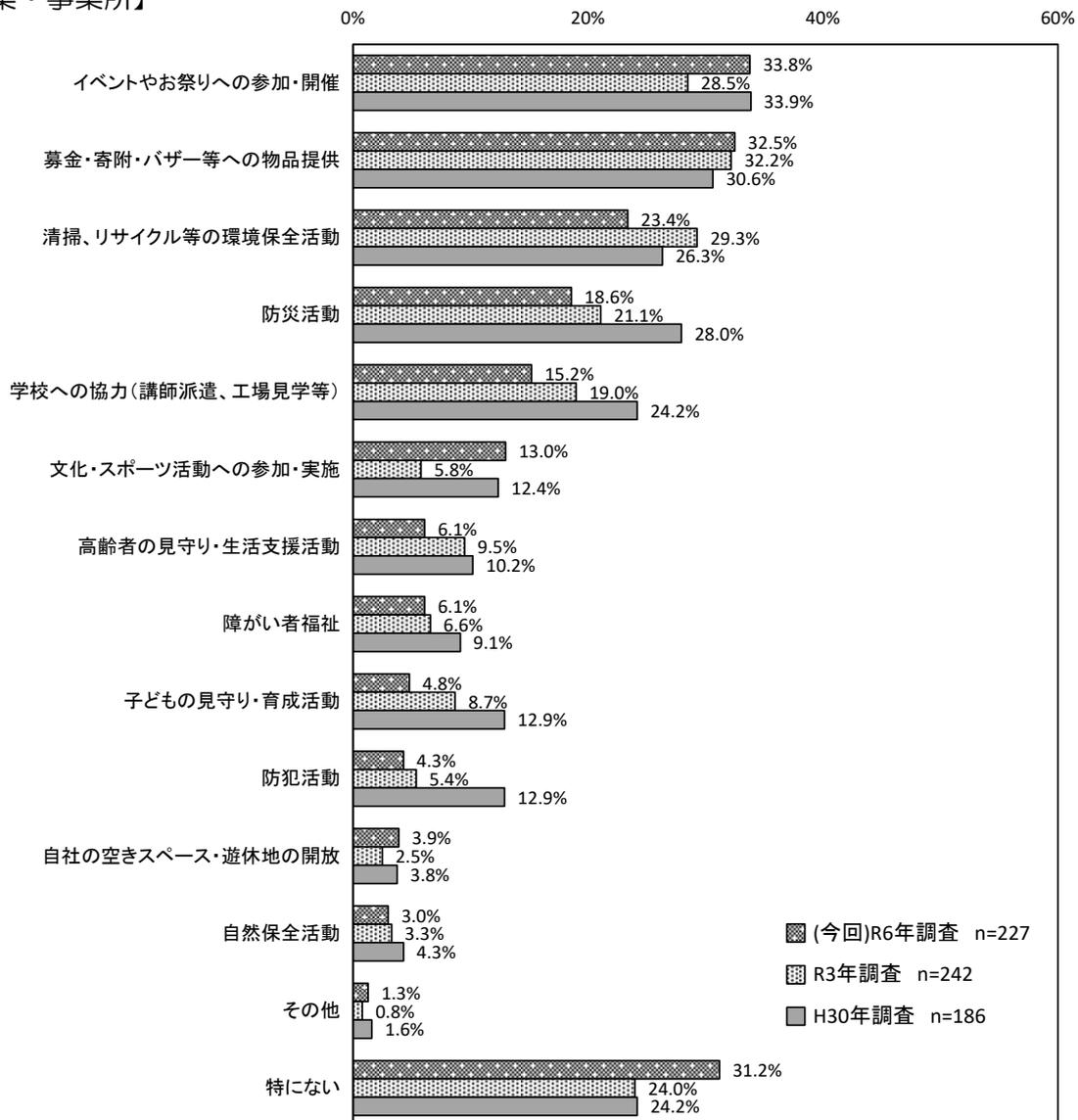


(2)社会貢献活動

- ・「**図表-27 社会貢献の観点から、本業とは別に会社や従業員が取り組まれていること**」では、「特にない」が 31.2%であるため、約7割の事業所が社会貢献活動に取り組んでいます。その内容としては、「**イベントやお祭りへの参加・開催**」、「**募金・寄附・バザー等への物品提供**」、「**清掃、リサイクル等の環境保全活動**」、「**防災活動**」、「**学校への協力**」が多くなっています。

図表-27 社会貢献の観点から、本業とは別に会社や従業員が取り組まれていること
(過去調査との比較) -複数回答(該当するものすべて)-

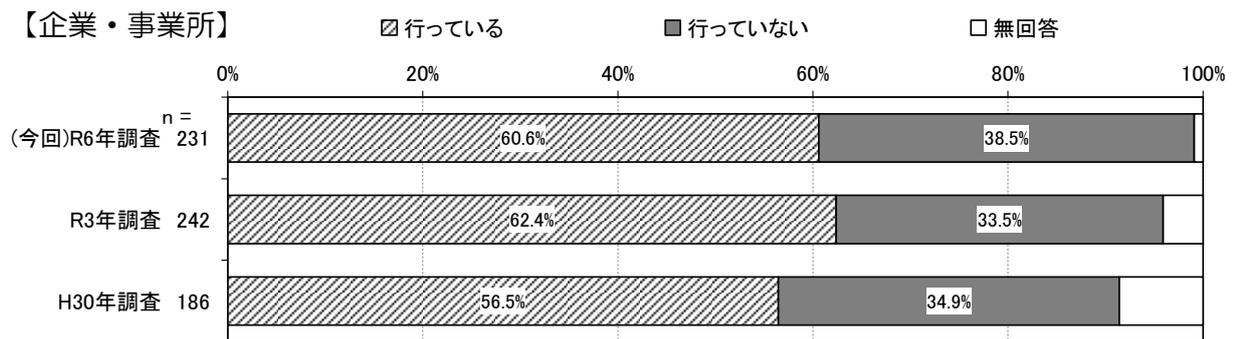
【企業・事業所】



(3) 従業員の子育て支援

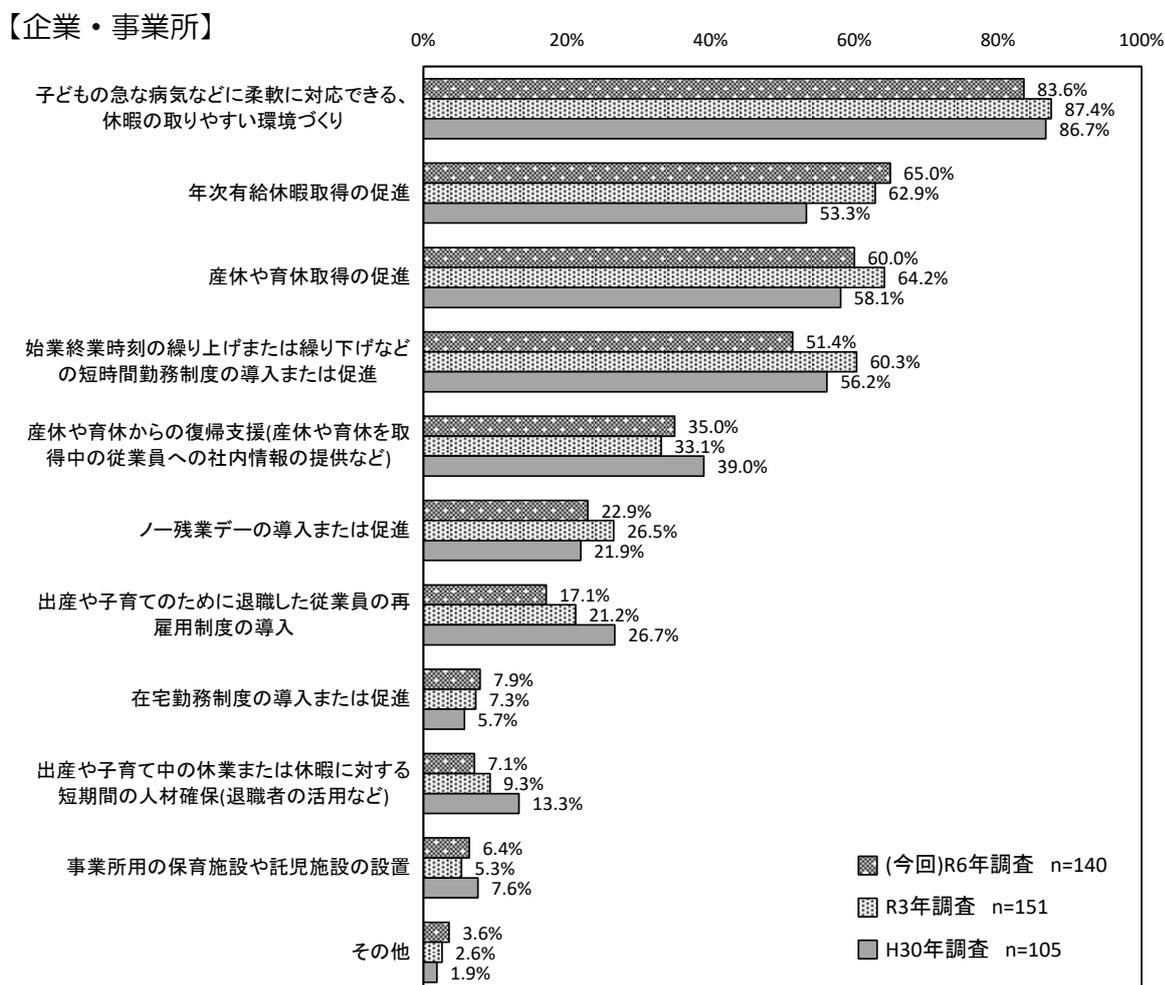
- ・「**図表-28 仕事と子育ての両立支援の有無**」では、**事業所の約6割で、仕事と子育ての両立に向けて支援を「行っている」と回答しています。**
- ・「**図表-29-1 仕事と子育ての両立のために行っている支援内容**」では、「**休暇が取りやすい環境づくり**」、「**年次有給休暇取得の促進**」、「**産休や育休取得の促進**」、「**短時間勤務制度の導入または促進**」などの支援を実際に行っており、「**図表-29-2 仕事と子育ての両立のために、今後も継続して行うことや新たにやりたいこと**」としても、同様の取組を行うことを考えている事業所が多くなっています。

図表-28 仕事と子育ての両立支援の有無(過去調査との比較)



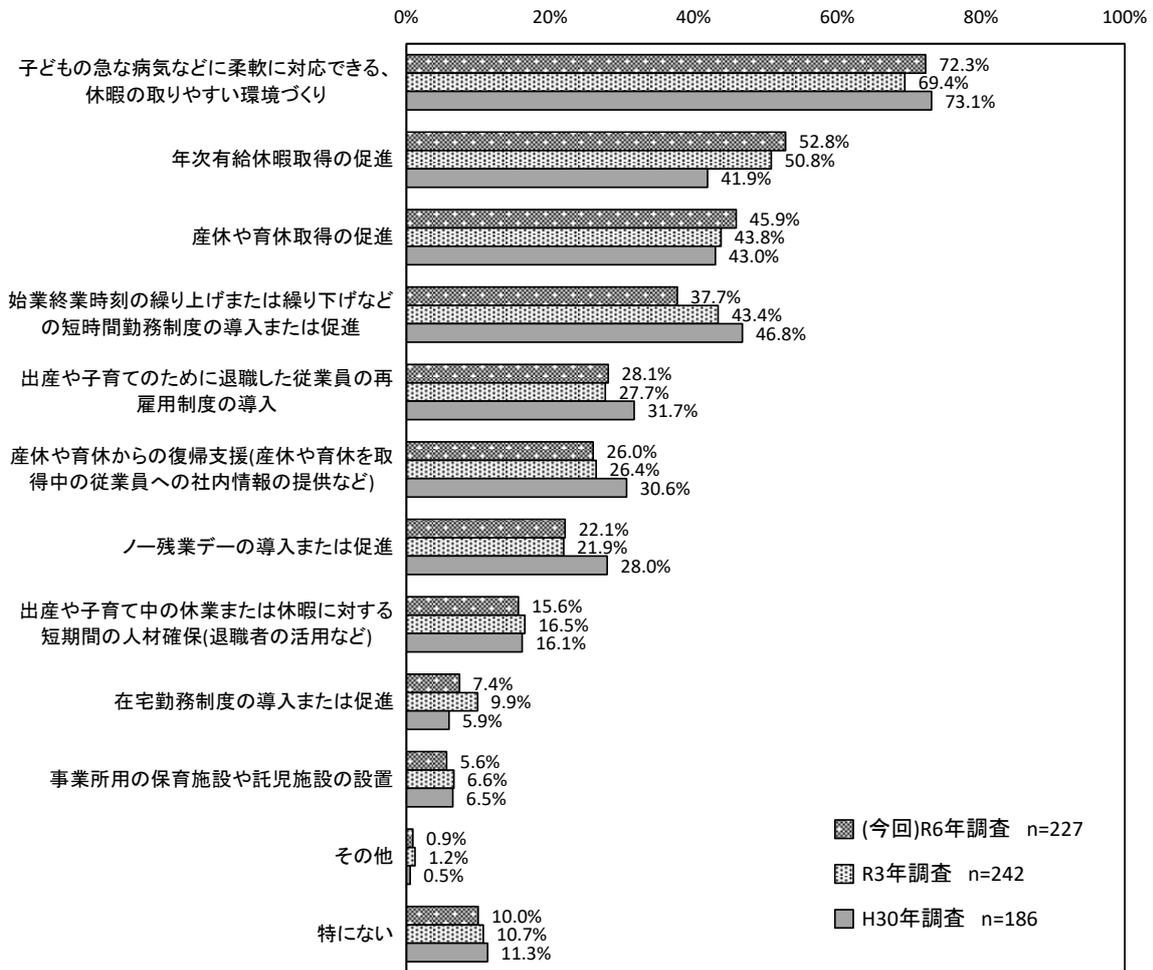
図表-29-1 仕事と子育ての両立のために行っている支援内容(過去調査との比較)

-複数回答(該当するものすべて)-



図表-29-2 仕事と子育ての両立のために、今後も継続して行うことや新たに行いたいこと
 (過去調査との比較) -複数回答(該当するものすべて)-

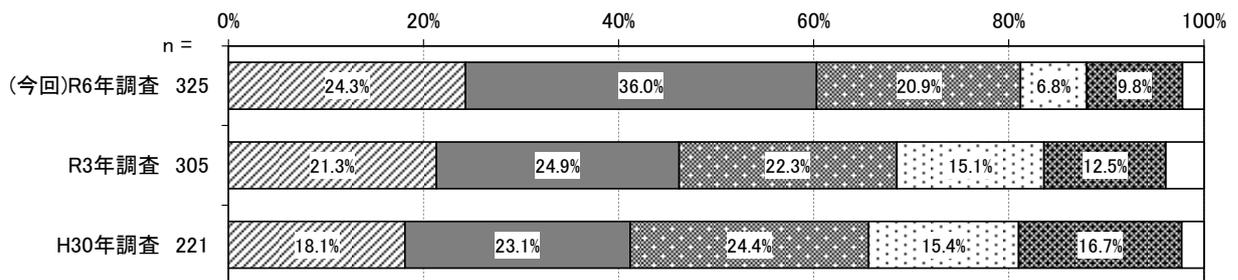
【企業・事業所】



- 一方、若者・子育て世代へのアンケート調査によると、「**図表-30 子育てをする人にとっての働きやすさ**」では、6割の職場が働きやすい(「**そう思う**」+「**ややそう思う**」)と回答し、3割弱が働きやすいとは思わない(「**あまりそう思わない**」+「**まったくそう思わない**」)と回答しています。
- 「**図表-31 働きやすくない原因**」では、「**日常的に労働時間が長い**」、「**一人ひとりの業務量が多い**」、「**始業・就業時間が固定的である**」、「**子どもの病気などで急用が入ったとき、職場で柔軟な対応ができない**」などをその理由としてあげています。

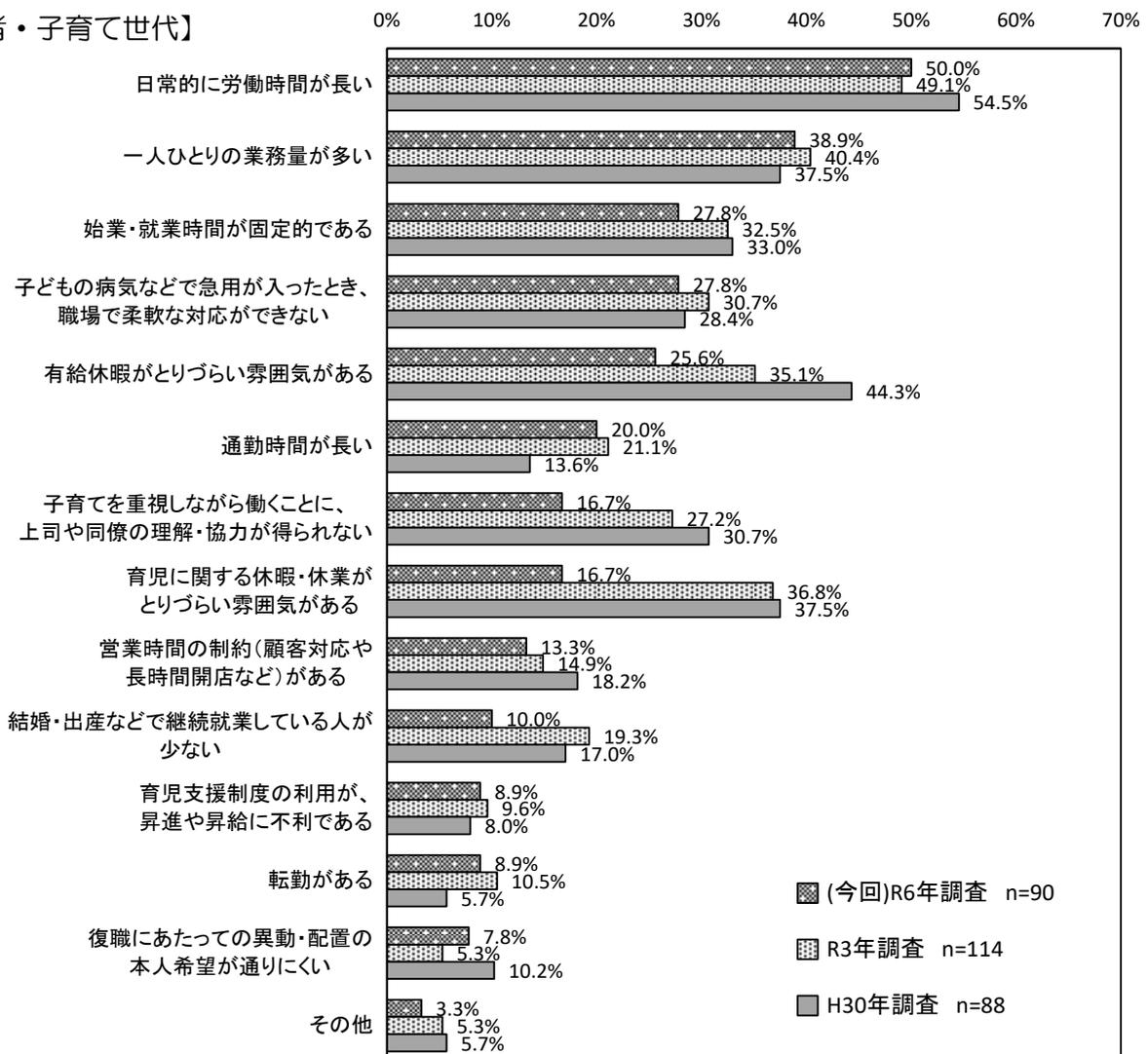
図表-30 子育てをする人にとっての働きやすさ(過去調査との比較)

【若者・子育て世代】 □ そう思う ■ ややそう思う ▨ あまりそう思わない □ まったくそう思わない ▩ わからない □ 無回答



図表-31 働きやすくない原因(過去調査との比較) -複数回答(該当するものすべて)-

【若者・子育て世代】



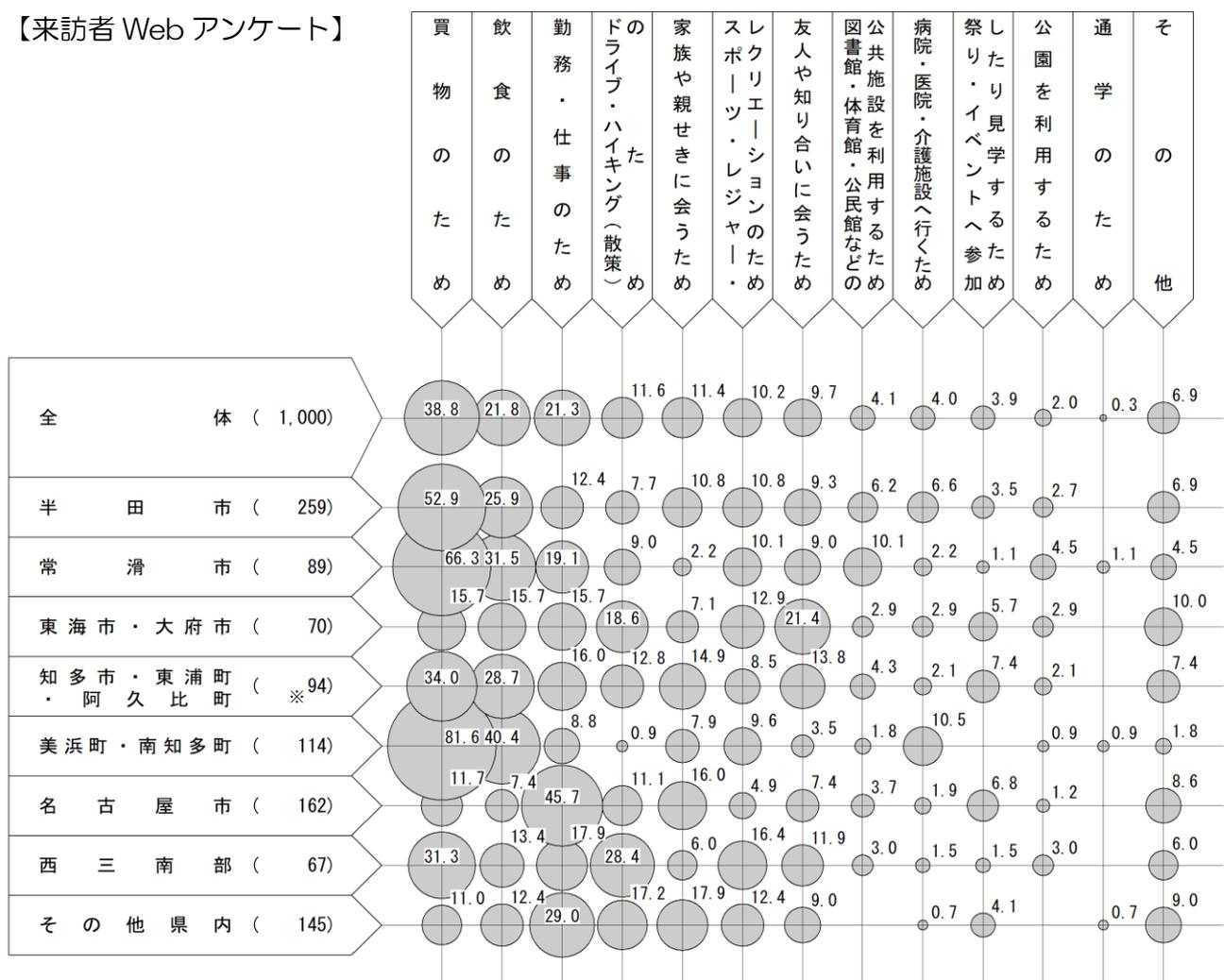
4 ⑤来訪者Webアンケート調査について

(1)武豊町への来訪目的と町のイメージ

- ・来訪者Webアンケート調査によると、「**図表-32 居住地別、武豊町への来訪目的**」では**買物、飲食、勤務・仕事**での来訪が多くなっています。
- ・「**図表-33 武豊町のイメージ**」では、他市町の住民からみた**武豊町に対してプラスイメージを持っている人が45.8%**で、令和3年調査より、「**大変良いイメージを持っている**」が1.5ポイント、「**どちらかというの良いイメージを持っている**」が4.5ポイント低下しています。一方、悪いイメージを持っている人は少ないが、「**どちらともいえない**」と、**明確なイメージを持たない人も半数を占めています**。

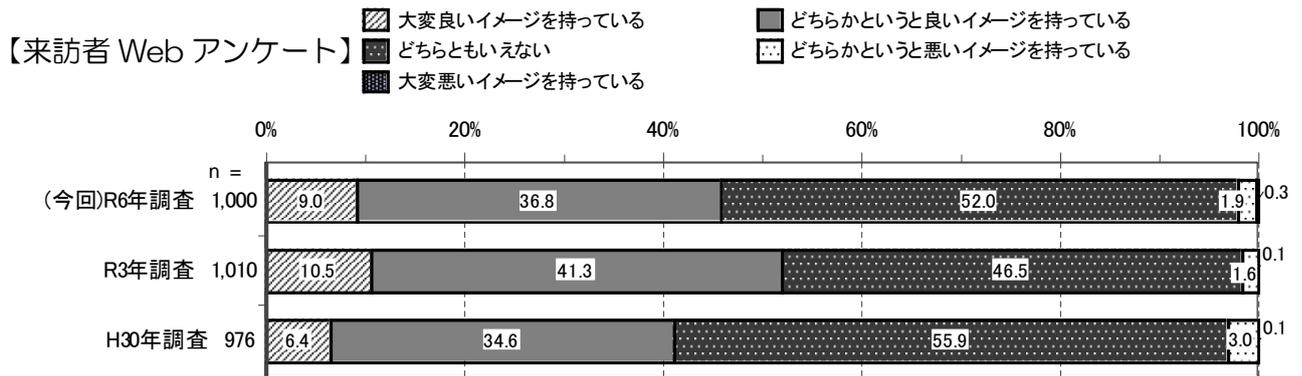
図表-32 居住地別、武豊町への来訪目的 -複数回答(3つまで)-

【来訪者 Web アンケート】



※西三南部:碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市

図表-33 武豊町のイメージ(過去調査との比較)

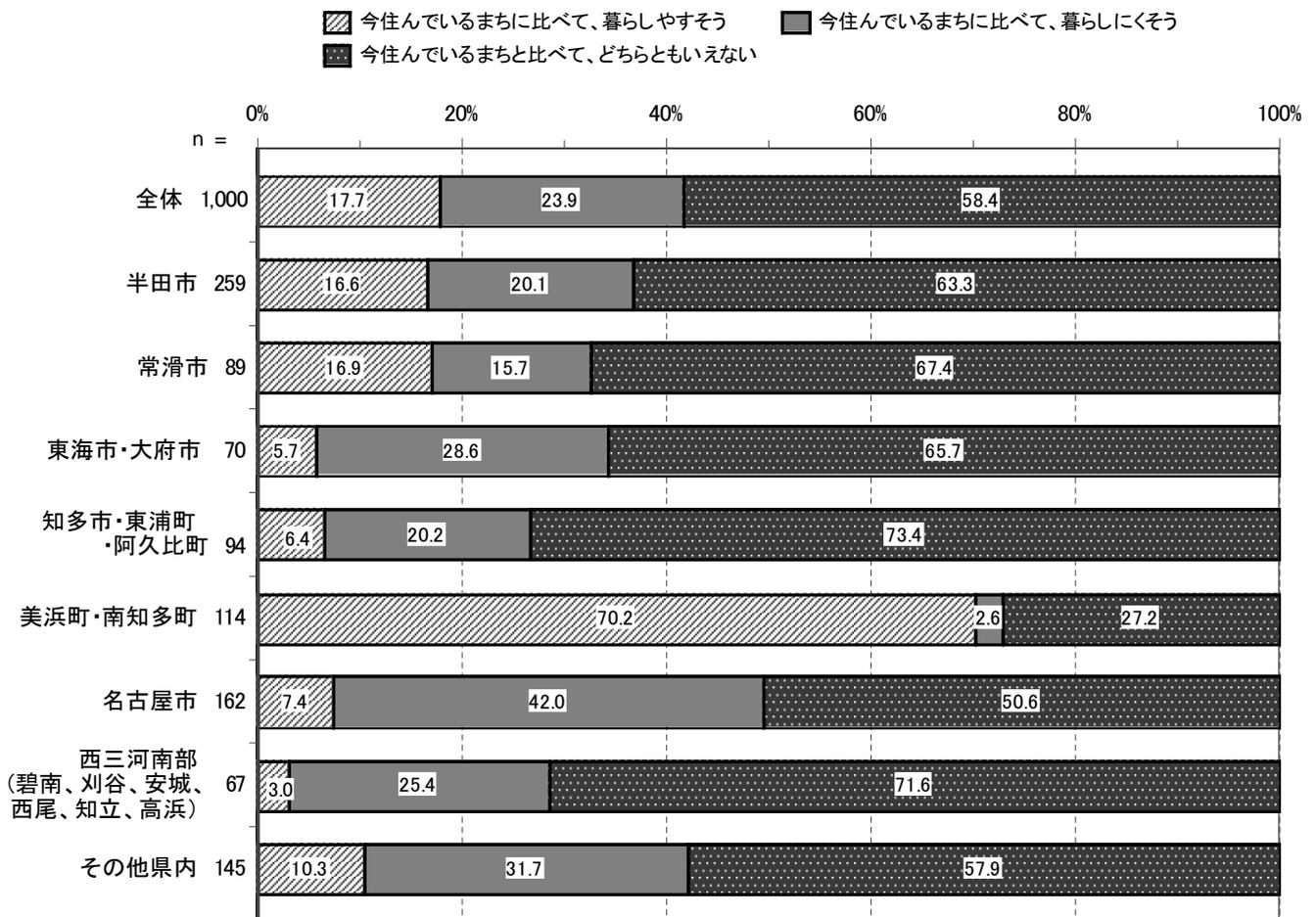


(2)武豊町の暮らしやすさ

・他市町からみた武豊町の暮らしやすさについて、「図表-34 居住地別、武豊町の暮らしやすさ」では、「どちらともいえない」が半数以上を占めるものの、「暮らしやすそう」より「暮らしにくそう」が多くなっています。しかし、美浜町、南知多町についてのみ、「今、住んでいるまちより暮らしやすそう」が多くなっています。

図表-34 居住地別、武豊町の暮らしやすさ

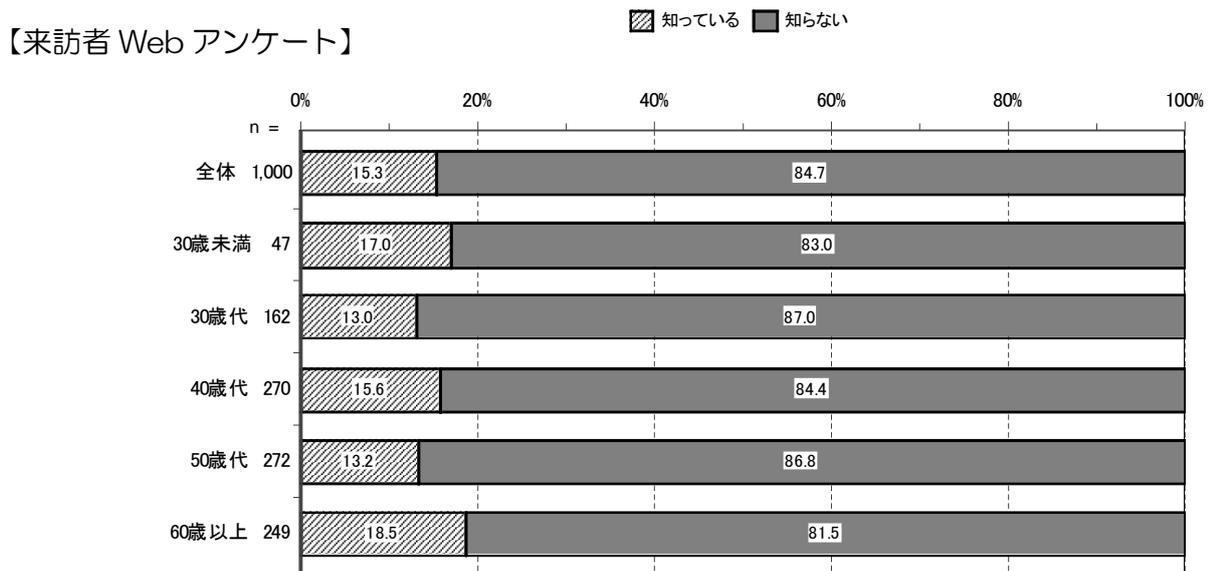
【来訪者 Web アンケート】



(3) 浦島太郎伝説の認知度

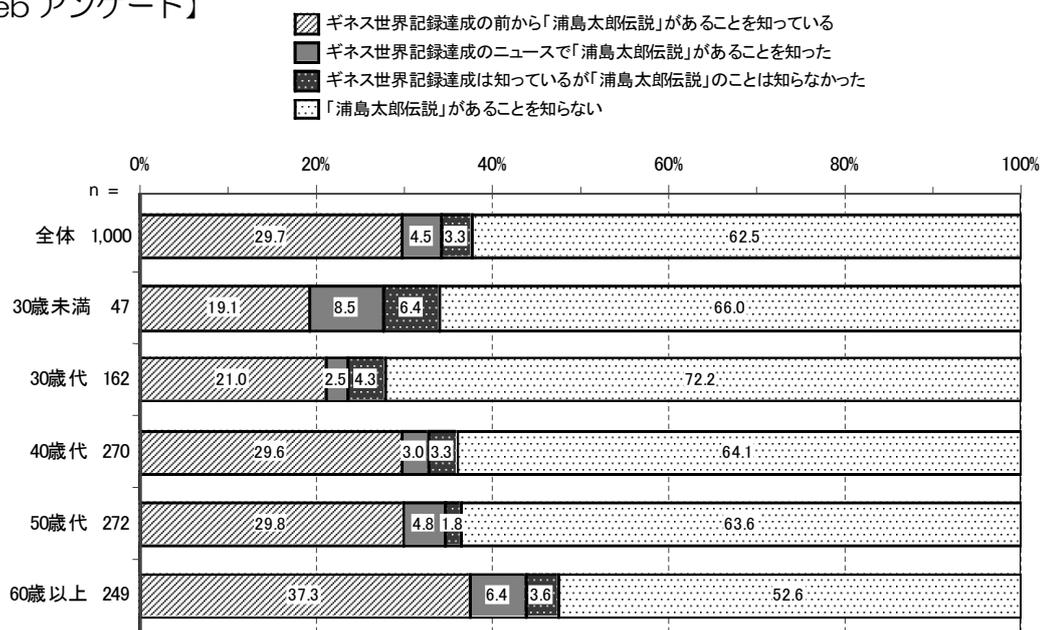
- ・「**図表-35 年齢別、浦島太郎伝説でギネス世界記録を達成したこと**」では知っているが 15.3%、知らないが 84.7%で、あまり知られていない結果となっています。
- ・「**図表-36 武豊町に浦島太郎伝説があること**」では、ギネス世界記録達成の前から「浦島太郎伝説」があることを知っているが 29.7%、ギネス世界記録達成のニュースで「浦島太郎伝説」があることを知ったが 4.5%、ギネス世界記録達成は知っているが「浦島太郎伝説」のことは知らなかったが 3.3%、「浦島太郎伝説」があることを知らないが 62.5%で、3割程度が武豊町に浦島太郎伝説があること知っており、年代が高くなるにしたがって知っている割合が高くなっています。

図表-35 年齢別、浦島太郎伝説でギネス世界記録を達成したこと



図表-36 年齢別、武豊町に浦島太郎伝説があること

【来訪者 Web アンケート】



武豊町まちづくり会議 開催結果概要

1. 開催のねらい

- 「第6次武豊町総合計画」の策定から4年近くが経過し、その間には、コロナ禍、円安、物価高騰、DX推進など、まちを取り巻く社会環境も大きく変化しています。
- こうした社会環境の変化をふまえて、今後、「武豊町がめざすべき姿」や「その実現のために取り組むべきこと」を町民と一緒に考える場として『まちづくり会議』を開催しました。

2. 成果の反映

- 第6次武豊町総合計画の基本計画の見直しに反映します。
- 「武豊町がめざすべき姿」、「その実現のために取り組むべきこと」は、基本計画の「第2章 重点施策方針」、「第3章 分野別計画」の見直しに反映します。

3. 開催経過・参加者数

回	開催日時	参加者数			
		公募	団体	職員	計
第1回	令和6年11月23日(土) 10:00~12:00	11人	7人	11人	29人
第2回	令和6年12月14日(土) 10:00~12:00	12人	7人	11人	30人
第3回	令和7年 1月11日(土) 10:00~12:00	12人	6人	11人	29人

4. 話し合いのテーマ

回	内容
第1回	<p>○理想とする武豊町の未来の姿(めざすべき姿)を考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未来の武豊町への期待と不安」について日頃感じていることを話し合いました。 ・そこで出てきた意見を参考に、「理想とする武豊町の未来の姿」を考えました。
第2回	<p>○未来の姿を実現するための取組アイデアを出し合おう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「武豊町の未来の姿」に関して4つのテーマ(A~D)を設定しました。 ・テーマ別にグループを編成し、「未来の姿」を実現するための「取組アイデア」を話し合いました。 <p>A.「子どもの学び・育ちを応援するまちへ」…重点施策方針2に相当</p> <p>B.「みんなが元気に活動・活躍するまちへ」…重点施策方針3に相当</p> <p>C.「住みよいかから、住みたいまちへ(その1)」…重点施策方針1に相当 (産業育成と雇用の確保、良好な住環境の確保)</p> <p>D.「住みよいかから、住みたいまちへ(その2)」…重点施策方針1に相当 (たけとよファンづくり、一元的な町の情報収集・発信のしくみづくり)</p>
第3回	<p>○未来の姿を実現するための取組アイデアを深掘りしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回会議で出された「取組アイデア」をベースに、重点的な取組について内容を深掘りしました。

第1回武豊町まちづくり会議(R6.11.23)

期待していること

- ・もっと交通の便が良くなる
- ・安心して妊娠・出産できる
- ・安全に暮らせるまちであってほしい
- ・高齢者にとって生活しやすいまち
- ・活気あふれるまち
- ・多世代がつながるまち
- ・色々なことに触れ、体験できる機会がある
- ・町のビジョンが住民に伝わっている

不安なこと

- ・空き家、田、畑をそのままになってないか
- ・電車の本数が減る
- ・「車がないと、出かけることができない
- ・みそ蔵なくさないでほしい
- ・子どもが遊べない、笑顔がない
- ・若者が少ないまちになっていないか
- ・飲食店など減少化、閉店していかないか…
- ・「自治会の加入者の減少、コミュニティの消失

■武豊町がめざすべき姿

見出し	理想的なまちのイメージ
笑顔で元気に暮らせるまち	笑顔あふれる武豊町
	あたりまえな幸せを感じられるまち
	明るい「あいさつ」が飛び交っているまち
	家族・ご近所さんと笑顔で暮らしているまち
子どもから大人まで優しい	子どもから老人まで、安全でやさしいまち
	全世代が生活に困らないまち
	老後、一人暮らしになっても、健康で笑っていたい
	子育てしやすいまち
	まち全体で子育て支援・サポート
	子が大きくなるまで安心して子育てできる暮らし
安全・安心なまち	災害時(地震・洪水・温暖化)にも安心なまちづくり、
	安全で安心な生活が続けられる
繋がりあい、孤立しないまち	多様な人がつながり、顔が見えるまち
	家族以外の人とのつながりを持ち、健康で役割を持って生活できるまち
	色々な分野の人たちとつながりあえるまち

第2回武豊町まちづくり会議(R6.12.14)

■ 未来の姿を実現するための取組アイデア(抜粋)

Aグループ テーマ:子どもの学び・育ちを応援するまちへ

見出し	取組アイデア(抜粋)
職業体験+多世代交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業体験 (特に町内企業に協力してもらう) ・ 小学生の職業体験(町内の企業や店と連携して機会を作る) ・ 交流の場の周知 体験学習の拡充 ・ 憩いのサロン等での交流を、園児だけでなく、小学生や中学生と行い、年齢によってかかわり方を変える
子どもたちが主体となった活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども会議 ・ 子ども議会、地域スポーツ大会など ・ 小中高校生企画運営のイベント ・ コミュニティスクールの活用、市民団体やサークルとのコラボ
中高生の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生の居場所…今の施設を活用した誰でも来られる場作り ・ 中高生の居場所として、学習サポート シャベリ場、中高生のボランティア、バイト
「ついで」でできる施設・場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の子育てしやすい環境…「ついで」でできる各施策の複合化

Bグループ テーマ:みんなが元気に活動・活躍するまちへ

見出し	取組アイデア(抜粋)
情報の出し方・伝え方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外問わない 誰でも見ることができ、かつ、見やすい情報発信 ・ HP、スマホ、広報…ボランティアに関する情報 リーダー育成の紹介 ・ 住民対話集会等による、町民の知りたい情報のニーズ把握 ・ 町からの情報を直接発信できるように(LINEとか)
成功体験・学ぶ心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベストプラクティス・成功事例の(発信)発表会の実施 ・ 「学び直す」楽しさ…楽しそう、面白そうと思ってもらえるプログラム
地域の担い手、人手に変わる仕組み(人材確保)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革に対する人材確保、交通指導員の増員(登校、下校のみ等) ・ 町も協力した人材募集 ・見回りに代わる防犯対策 ・ 参加しやすい、しなければならないと思うような体制

Cグループ テーマ:住みよいかから、住みたいまちへ(その1)

見出し	取組アイデア(抜粋)
商店街 名鉄知多武豊駅・JR武豊駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名駅エリアへ通勤できる人へ PR マンション・店舗 ・ JR、名鉄駅の活用…企業との話し合い ・ 駅(鉄道会社)を中心とした交流拠点コミュニティを作る ・ 若者がチャレンジできるスペースづくり、みゆき通り以外でも商店街の仲間に広げていく ・ 駅前に高級ホテル、企業オフィスマンション等の複合施設を作る ・ 人を呼び込むイベント、出店者の増加 ・ 駅前(周辺)の空き家・店舗の有効な活用…推進力となる組織づくり
みその文化を根付かせる みそのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・ みそたまりの文化を知るスタディツアー&食事ツアー ・ 常にみそ蔵のみそ汁がのめる みそ汁スタンド ・ みそ醸造のテーマパークを設立する
住環境 公園・緑化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民みんなで草取り等ボランティア活動 ・ 遊びやすい公園 公園の集約化(緑の管理、遊具の管理しやすく)

Dグループ テーマ:住みよいかから、住みたいまちへ(その2)

見出し	取組アイデア(抜粋)
みそ、たまりのPR戦略 みそ、たまり文化の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外の飲食店にもっと使ってもらって PR。みんなでマイたまり持つ。 ・ 武豊のみそ・たまりを作ったレシピの募集・紹介 ・ 醸造文化の紹介
お試し居住のプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードは「週末〇〇」家、農地(あき家、荒地含む) ・ 週末だけ武豊に来てもらって DIY や、農業をやってもらう ・ 空き家が増えている。有効活用 ・ 福祉大とのコラボ…まず大学の住宅供給
まちの情報発信拠点 (中心市街地で、武豊自慢の発信)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰でも気軽に立ち寄れて、情報発信、収集ができる場所 ・ 武豊のいいところ、すごいところを発信(LINE SNS)

第3回武豊町まちづくり会議(R7.1.11)

■ 未来の姿を実現するための取組アイデアを深掘り(要点)

Aグループ 重点施策方針2:子どもの学び・育ちを応援するまちへ

テーマ●A-1 子どもたち(小中学生)を対象とした体験学習(多世代交流も意識して)

- 体験学習の機会をつくる。
 - 企業と連携して見学・体験の場を作る
 - 本気の職業体験…将来の子どもの定住・就職を見据えて実施する。
- 子どもたちが自分たちで考える……成功・失敗体験、大人は余計な口出ししない。
 - 中高生を対象に、ボランティアを募集して、体験する。
- 多世代交流の機会をつくる。
 - 小学生と幼児(園児)のふれあい体験 一緒に遊ぶ、給食を食べる。
 - 高齢者サロンや幼児の遊び場に子どもたちが発表できる場をつくる。

テーマ●A-2 子どもたち(小中高生)が主体となって取り組む事業 (子どもたちが企画・運営するイベント、子ども会議など)

- 子ども会議
 - 年一回テーマを決めてイベント実施。町長へ意見を言う場をつくる。
 - 子ども家庭庁が中心となり、中高生の子ども会議をもうける。
- 子どもたち企画のイベント
 - お祭り、コンサートなどを一から企画、予算、計画、運営まで行う部活や実行委員会をつくる。

Bグループ 重点施策方針3:みんなが元気に活動・活躍するまちへ

テーマ●B-1 住民活動 成功事例の発表会(各種活動団体の成功事例の発信)

- 動画で発信する、伝える。……短い動画(2~3分程度)で伝える。
 - インタビュー動画、活動紹介の動画などを作成・配信。(☆アーカイブ配信。)
- 人が集まる場で成功事例発表の機会を設ける(軽い発表)……発表会自体の企画は大変。
 - 活動団体を表彰する(グッドアクティビティ賞、ありがとう賞(感謝の意))
 - 活動者のモチベーションを上げる→『私もやってみよう』につなげる……スパイラルアップ!

テーマ●B-2 住民の活動・活躍の促進に役立つ情報の提供(情報の出し方・伝え方)

- 既存のしくみの活用 しつこくPRしていく。
 - 町の公式LINE、小中学校のアプリ などでの発信+紙媒体による情報提供も残す。
 - 町(行政)と団体ネットワークの両軸での情報提供。
- テーマ別のあつまりつくる。そこでの学び合い。
 - テーマを絞り込み人が集まるしくみを作る。(身近なテーマがいい)(ex.防災、安全安心)

C グループ 重点施策方針 1:住みよいかから、住みたいまちへ(その1)

テーマ●C-1 みそ・たまり文化の情報発信(ブランディング、たまり大使 など)

- みその文化を住民に浸透させる。
みそたろうの出張訪問イベントや授業、みそ・たまり大使
役場内でみそ・たまりをPRするスペースを作る
子どものみそづくり体験…3年仕込みで卒業時にもらう
「武豊みそ」の名を色々な場で使う…町内の店で、行政のメディアで
- みそ料理が食べられる場をつくる。
飲食店のメニュー、料理の写真を投稿
武豊のみそを使った料理コンクール
みそ汁祭り 5つの蔵のみそ汁のみくらべ

テーマ●C-2 まちの情報発信拠点(まちの拠点づくり、武豊自慢発信 など)

- 情報発信拠点……観光案内所的な場所を駅近くにつくる
- 公式のSNSで発信、イベント情報の発信

D グループ 重点施策方針 1:住みよいかから、住みたいまちへ(その2)

テーマ●D-1 オープンスペースを活用した人を呼び込むイベント

- 連携してまち全体を活用するイベント……長いイベント(駅~中央公園)
マルシェやスタンプラリー、体験
オープンスペースを活用した音楽、マーチングバンド、ミニスポーツ
- 特色あるイベント……ターゲットを絞り込んだイベント(みそサミット、環境イベント等)
- 民間活力の活用(パークPFI)。
- インフラ(トイレ・駐車場)の整備は必要。

テーマ●D-2 お試し移住の促進

- ルネッサンス(武豊町の魅力の再確認・賑わいをとりもどす)
空き家は旧市街地に多い。道が“狭い”“不便”を逆に魅力に。
- 空き家情報……情報収集、募集 開示(見える化)
- インフルエンサーによる移住で魅力ある情報の発信
- お試し移住体験……農業、DIY、キャンプ など

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【重点施策方針1】								
	人口の社会増	各年度の人口の社会動態 (転入者数－転出者数)	169人 (‘14～18の 5年平均)	168人 (2023年)	170人 (現状維持)	170人 (現状維持)	80人 (‘19～23 の5年平均)	*
【重点施策方針2】								
	出生数	各年度の出生数	347人 (‘14～18の 5年平均)	286人 (2023年)	320人	320人	310人 (‘19～23 の5年平均)	*
	若者・子育て世代からみた町の住みご ち(%)	若者・子育て世代アンケート調査で「大変住みやすい」また は「まあまあ住みやすい」と回答した割合	84.2%	84.1%	85%	85%		
【重点施策方針3】								
	生きがいを感じている住民の割合(%)	町民意識調査で、「生きがいしているものがあります か」の問いに『はい』と回答した割合	65.9%	63.9%	68%	70%		*
	まちづくり活動への参加率(%)	町民意識調査で、「地域の行事やお祭りに参加していま すか」の問いに『はい』と回答した割合	43.5%	42.7%	47%	50%		*

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【分野1 都市環境】								
1-1 市街地・住環境	町の中心部の魅力や活気への満足度(%)	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活気づいている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	11.3%	14.0%	15%	20%		
	住環境への満足度(%)	町民意識調査で「暮らしやすい住環境が整っている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	35.3%	50.6%	40%	45%		
	公園を利用する人の割合(%)	町民意識調査で「近所の公園や児童遊園を利用している」と回答した割合	25.8%	35.5%	28%	30%		
1-2 交通基盤	車での移動のしやすさの満足度(%)	町民意識調査で「幹線道路が整備され車で移動しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	31.0%	54.2%	35%	40%		
	都市計画道路の整備率(%)	町内における都市計画道路の整備が完了している延長の割合	55.5%	56.2% (2023年)	60%	65%		
	コミュニティバスの利用者数(人)	1年間でコミュニティバスを利用した人数	61,617人	88,256人 (2023年)	72,000人	73,000人		
1-3 上下水道	下水道事業債年度末未償還残高(億円)	下水道施設の建設改良のために発行した事業債の残高	66.57億円	44.27億円 (2023年)	40億円	35億円		
	重要給水施設までの水道基幹管路の耐震化率(%)	耐震管路総延長(km)÷管路総延長(km)(重要給水施設までの水道基幹管路)×100	58.5%	81.7% (2023年)	87%	100%		
	生活排水処理率(%)	基準日(3月31日)時点の、下水道・合併処理浄化槽の汚水処理施設の整備人口(2019年までは農業集落排水施設を含む)÷行政区域内人口×100	76.4%	81.6% (2023年)	80%	82%		
【分野2 子ども】								
2-1 出産・子育て	子育てしやすさの満足度(%)	町民意識調査で「子育てがしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.2%	33.9%	25%	30%		
	子育て支援センター延べ利用者数(人)	当該年度における、1年間の子育て支援センターの利用者数	20,698人	23,110人 (2023年)	24,000人	24,000人		

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【分野3 学び】								
3-1 学校教育	不登校児増人数(小学校)(人)	武豊町における生徒指導上の諸問題調査において年間30日以上欠席した児童数	21人	67人 (2023年)	18人	15人		
	不登校生徒人数(中学校)(人)	武豊町における生徒指導上の諸問題調査において年間30日以上欠席した生徒数	57人	108人 (2023年)	50人	45人		
	ボランティア活動への意欲(%)	中学生意識調査で「地域をよくするための活動(区の活動やボランティア団体の活動)に参加してみたい」と回答した割合	44.2%	42.6%	47%	50%		*
3-2 生涯学習	生涯学習事業の参加者数(人)	1年間の講座、イベントの参加者数	24,877人	23,137人 (2023年)	25,500人	26,000人		
	趣味や教養、スポーツ活動を楽しんでいる住民の割合(%)	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツ等の活動を楽しんでいる」と回答した割合	52.9%	49.3%	54%	55%		*
	図書館の利用者数(来館者数)(人)	1年間の利用者数	198,086人	160,125人 (2023年)	199,000人	200,000人		*
	中央公民館の利用者数(人)	1年間の利用者数	90,754人	40,472人 (2023年)	91,000人	91,500人		*
3-3 スポーツ	ゆめたろうスマイルマラソン申込者数(人)	イベントに申込んだ人数	3,283人	2,082人 (2023年)	3,400人	3,500人		*
	スポーツ施設(総合体育館、運動公園、弓道場、緑地グラウンド)の利用者数(人)	1年間でスポーツ施設を利用した人数	204,058人	229,166人 (2023年)	208,100人	212,300人	2022年より屋内温水プール追加	
	趣味や教養、スポーツ活動を楽しんでいる住民の割合(%)	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツ等の活動を楽しんでいる」と回答した割合	52.9%	49.3%	54%	55%		*
3-4 文化芸術	文化振興事業の参加者数(人)	町民会館での1年間の文化振興事業参加者数	16,354人	13,462人 (2023年)	16,900人	17,400人		*
	文化協会加入者数(人)	文化協会へ加入している会員数	515人	373人 (2023年)	520人	525人		
	町民会館利用率(%)	町民会館全体の1年間の利用率	51.4%	48.6% (2023年)	55%	60%		*
	芸術や文化に触れている人の割合(%)	町民意識調査で「芸術や文化に触れている」に『はい』と回答した割合	34.4%	29.5%	37%	40%		

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【分野4 健康・福祉】								
4-1 健康・医療	健康づくりの機会や対応への満足度(%)	町民意識調査で、「健康づくりの機会や対応が充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.2%	29.9%	26%	30%		
	特定健康診査の受診率(%)	国民健康保険加入者40歳から74歳(特定健診対象者)のうち、特定健診を受診した割合	56.6%	51.3% (2023年)	61%	65%		*
	病院や休日診療等の受診しやすさへの満足度(%)	町民意識調査で、「病院や休日診療等を受診しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	23.6%	33.0%	27%	30%		
4-2 地域福祉	ボランティア活動への参加率(%)	福祉課の実施したアンケート調査で「ボランティア活動」について『参加している』と回答した割合	23.0% (2016年)	12.3% (2021年)	30%	35% (2026年)		*
	地域で支え合う風土があることへの満足度(%)	町民意識調査で「近所で共に助け合い、支え合う関わりがある」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	20.7%	28.6%	25%	30%		
4-3 高齢者福祉	第1号被保険者 要支援・要介護認定率(%)	第1号被保険者認定者数÷高齢者数×100 ※施策により上昇を抑える	13.0%	14.3% (2023年)	17.7%	18.0% (2028年)		
	ボランティアに参加している高齢者の割合(%)	福祉課の実施した健康とくらしの調査で「ボランティアグループへの参加」に『月1回以上』と回答した割合	13.1% (2016年)	20.7% (2022年)	15%	20% (2028年)		
4-4 障がい者福祉	障がいのある方にとっての暮らしやすさ(%)	福祉課の実施したアンケート調査(障がい者用、障がい児用合算)で「武豊町が障がいのある方にとって暮らしやすいまち」かどうかについて『暮らしやすいまちだと思う』と回答した割合	70.4% (2017年)	66.0% (2022年)	75% (2023年)	77% (2029年)		
	障害者差別解消法の認知度(%)	福祉課の実施したアンケート調査(障がい者用、障がい児用、町民向け合算)で「障害者差別解消法」について『知っている』と回答した割合	20.9% (2017年)	29.0% (2022年)	34% (2023年)	40% (2029年)		*
【分野5 安全・安心】								
5-1 防災	武豊町一斉情報配信サービス登録件数(件)	メールサービス登録者数	5,500件	12,047件 (2023年)	6,000件	7,000件		
	災害への備えができていない住民の割合(%)	町民意識調査で「普段から災害に備えている」と回答した割合	50.2%	51.5%	55%	60%		
	木造住宅耐震診断実施戸数(戸)	当該年度までに「民間木造住宅耐震診断事業」により、耐震診断を実施した木造住宅の総戸数	1,400戸	1,568戸 (2023年)	1,750戸	2,000戸		
5-2 防犯・交通安全	町道の歩道設置延長(km)	基準日(4月1日)における歩道の総延長	39km	40.1km (2023年)	41km	43km		
	犯罪発生件数(件)	当該年の1年間の刑法犯発生件数	223件	172件 (2023年)	165件	150件		
	交通事故発生件数(人身事故)(件)	当該年の1年間の交通事故発生件数(人身事故)	145件	122件 (2023年)	120件	100件		
	飲酒運転検挙者数(件)	当該年の1年間の飲酒運転検挙者数	11人	6人 (2022年)	5人	0人	2023年より非公表	

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【分野6 産業・交流】								
6-1 産業	認定新規就農者数(人)	新規就農者で青年等就農計画の認定を受けたのべ人数	8人	10人 (2023年)	15人	25人		
	製造品出荷額(億円)	工業統計調査の製造品出荷額等 (4人以上の事業所)	2,705億円 (2018年)	2,824億円 (2020年)	2,760億円 (2024年)	2,820億円 (2029年)	2021年より統計廃止	
	製造業の従事者数(人)	工業統計調査の従業者数 (4人以上の事業所)	6,916人 (2018年)	6,895人 (2020年)	7,060人 (2024年)	7,200人 (2029年)	2021年より統計廃止	
6-2 観光・交流	町の中心部の魅力や活気への満足度(%)	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活気づいている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	11.3%	14.0%	15%	20%		
	鉄道駅の年間乗車人数(定期利用を除く)(万人)	JR武豊駅、名鉄上ヶ駅、名鉄知多武豊駅、名鉄富貴駅における年間乗車人数のうち、定期券利用者を除いた人数	53.7万人	47.6万人 (2023年)	54万人	55万人		
	まちの駅「味の蔵たけとよ」の年間購買客数(人)	まちの駅「味の蔵たけとよ」で物品を購入した人数	88,785人	99,332人 (2023年)	100,000人	105,000人		
【分野7 環境】								
7-1 自然環境	自然を身近に感じられることへの満足度(%)	町民意識調査で「水や緑等の自然を身近に感じられる」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	38.3%	52.7%	40%	45%		
	河川の水質(石川・堀川・新川のBODの平均)(mg/L)	石川・堀川・新川でのBODの平均	3.0mg/L	3.8mg/L (2023年)	2.9mg/L	2.8mg/L		
7-2 生活環境	1人あたりの家庭系ごみ(資源含む)の排出量/日(g)	家庭系ごみ総排出量(資源含む)/365日÷人口	800g	730g (2023年)	600g	550g		
	1人あたりの家庭系ごみ(資源除く)の排出量/日(g)	家庭系ごみ総排出量(資源除く)/365日÷人口	533g	426g (2023年)	440g	400g		

第6次武豊町総合計画 成果指標達成状況一覧

黄色のセルの実績値は

達成見込み低い

資料6

	指標	説明	基準値 (2018年)	実績値 (2024年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)	備考	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと考えられる指標
【分野8 まちづくり・地域経営】								
8-1 住民活動 地域活動 (住民協働)	町政・まちづくりに関心がある若い世代の割合(%)	町民意識調査で「武豊町の町政・まちづくりに関心がある」に回答した15歳から39歳のうち『そう思う』または『ややそう思う』と回答した割合	44.2%	57.6%	50%	55%		
	地域活動に参加したい(これからも参加したい)住民割合(%)	町民意識調査で「地域活動(清掃、お祭り等)に参加したい(これからも参加したい)」に『そう思う』または『ややそう思う』と回答した割合	44.6%	45.3%	48%	50%		*
	ボランティア、NPO活動に参加したい(これからも参加したい)住民割合(%)	町民意識調査で「ボランティア、NPO活動に参加したい(これからも参加したい)」と回答した割合	33.7%	29.6%	37%	40%		*
8-2 相互理解 (男女共同参画・多文化共生)	男女共同参画への満足度(%)	町民意識調査で「男女が差別なく参画できる社会となっている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	14.3%	21.3%	20%	25%		
	異世代や外国人との交流がある住民割合(%)	町民意識調査で「他の世代の人や外国人と交流したり、触れ合うことがある」と回答した割合	38.5%	24.9%	45%	50%		*
8-3 タウン プロモーション	町ホームページの年間アクセス件数(件)	当該年度における、1年間の町ホームページへのアクセス総数	598,084件	1,576,946件 (2023年)	750,000件	800,000件		
	町に愛着を持っている住民の割合(%)	町民意識調査で「武豊町に愛着がある」に『はい』と回答した割合	80.2%	80.9%	82%	85%		
	今後も武豊町で暮らしたいと答えた中学生の割合(%)	中学生意識調査で「今後も武豊町で暮らしたい」と回答した割合	67.1%	81.8%	75%	80%		
【分野9 行財政】								
9-1 行政運営	町ホームページへの新規記事投稿件数(件/年)	1年間でホームページへ新規で投稿した記事の件数	106件	157件 (2023年)	200件	250件		
	住民意向の反映状況への満足度(%)	町民意識調査で「行政に住民の意向が反映されている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	11.5%	16.0%	13%	15%		
	行政サービスに対する満足度(%)	町民意識調査で「行政サービスが充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	20.0%	28.8%	25%	30%		
9-2 財政運営	実質公債費比率(%)	当該年度における実質公債費比率(町の収入に対する負債返済の割合)	1.0%	0.1% (2023年)	5%以内	5%以内		